

ビデオ プロジェクター

取扱説明書

VPL-VW1100ES

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属のクイックリファレンスマニュアルをよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

4K SXRD HDMI

Silicon X-tal Reflective Display

目次

各部の名前

本機前面／右側面	4
本機後面／底面	5
リモコン	6

接続と準備

準備 1：本機を設置する	7
設置する	7
準備 2：画面の位置を調整する	9
準備 3：機器をつなぐ	15
ビデオ機器をつなぐ	15
パソコンをつなぐ	17
3D シンクロトランスマッターをつなぐ	18

見る

映像を投写する	20
電源を切る	21
3D 映像を楽しむ	21
3D メガネを使う	22
3D メガネを充電する	24
ピクチャーポジションを使う	26
映像に合わせてアスペクト比を切り換える	27
画質を選ぶ	30
「ImageDirector3」を使って画質を調整する	31

メニュー画面で調整や設定をする

メニュー操作のしかた	32
画質設定メニュー	35

スクリーン設定メニュー	42
初期設定メニュー	45
機能設定メニュー	47
設置設定メニュー	51
情報メニュー	55
プリセットメモリーについて	56

ネットワーク機能を利用する

ウェブブラウザで本機のコントロール	
画面を開く	58
コントロール画面を操作する	59
ページを切り換える	59
アクセス制限を設定する	59
本機の状態を確認する	59
本機を操作する	60
メールレポート機能を利用する	60

その他

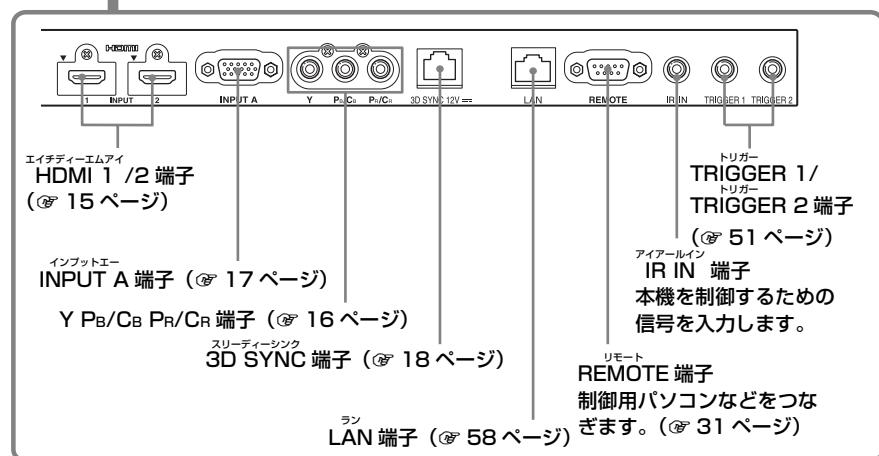
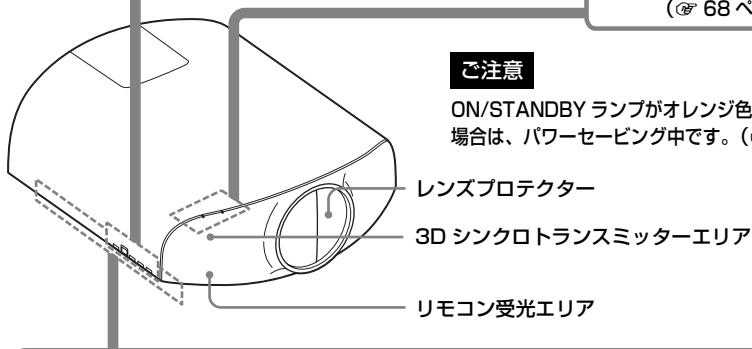
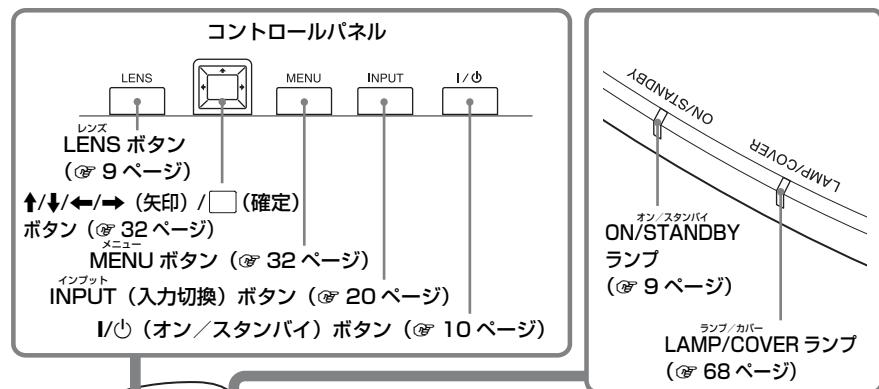
HDMI 機器制御について	62
DCI 仕様について	63
x.v.Color（エックスブイ・カラー）について	63
シミュレーテッド 3D 機能について	63
故障かな？と思ったら	64
警告ランプ	68
メッセージ一覧	70
光源用ランプを交換し吸気口を掃除する	72
お手入れ	75
保証書とアフターサービス	76
主な仕様	77
プリセット信号一覧	79

入力信号と調整・設定項目	82
対応 3D 信号一覧	84
3D 信号と調整／設定項目	84
アスペクトモード	86
調整／設定項目の保存条件	87
投写距離とレンズシフト量	89
寸法図	93
索引	96

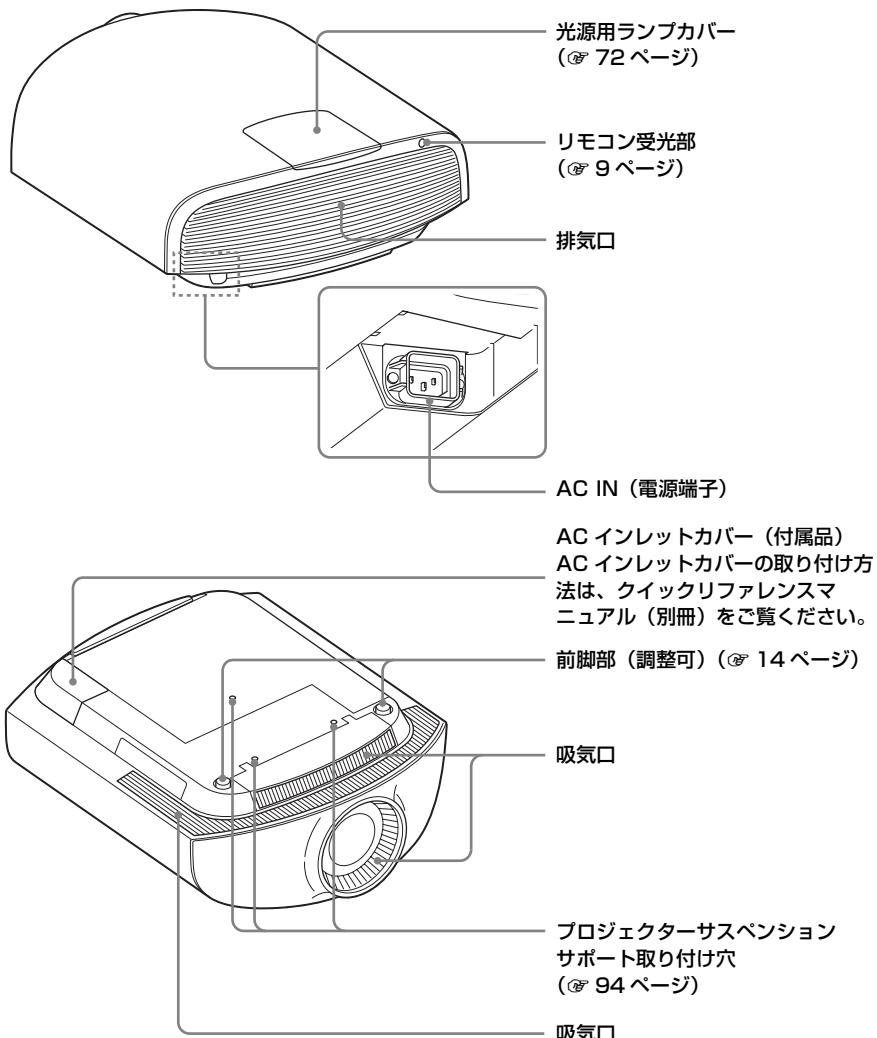
各部の名前

本機前面／右側面

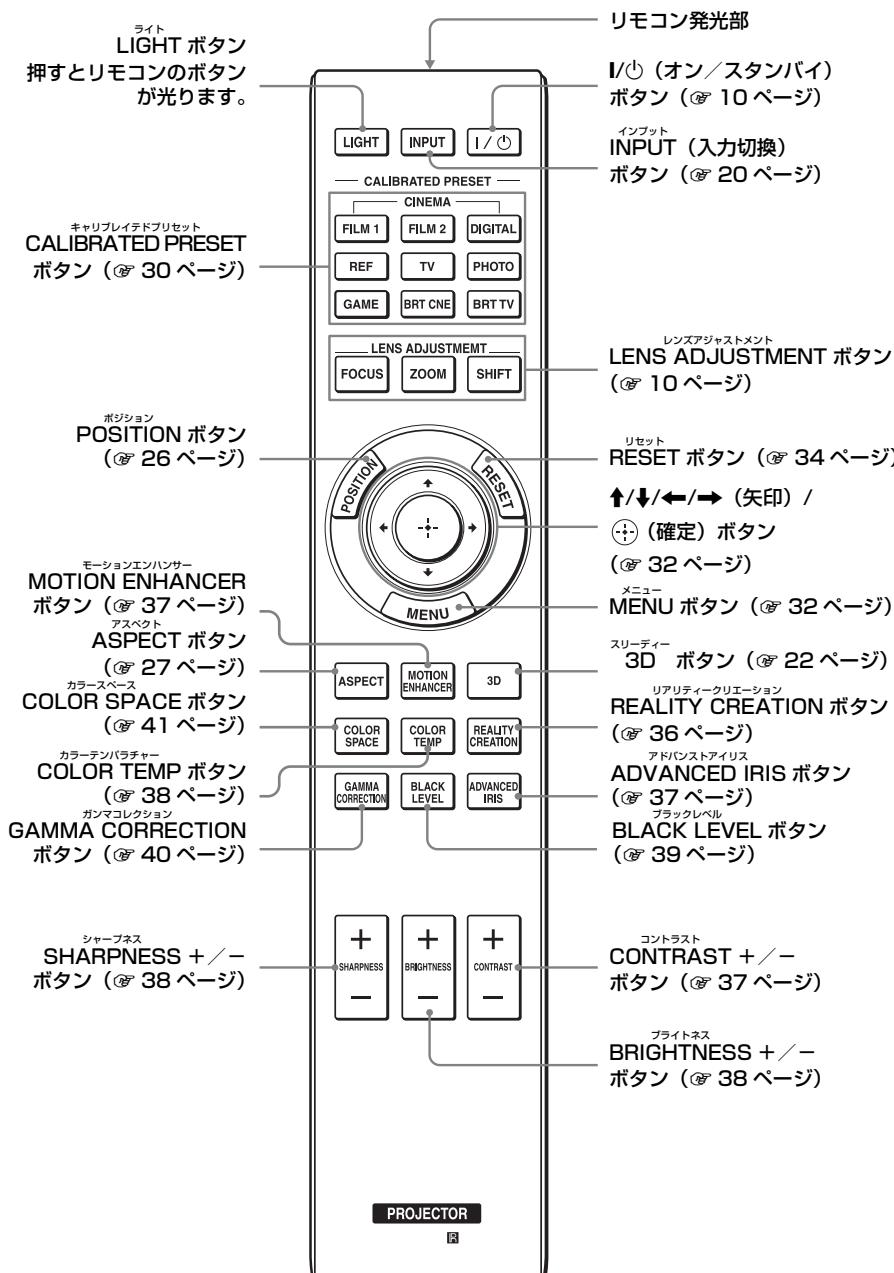
本機のコントロールパネルのボタンはリモコンの同名称のボタンと同じ働きをします。



本機背面／底面



リモコン



接続と準備

この章では、本機とスクリーンを置く位置を決めたり、本機で映す機器との接続のしかたなどを説明します。

準備 1：本機を設置する

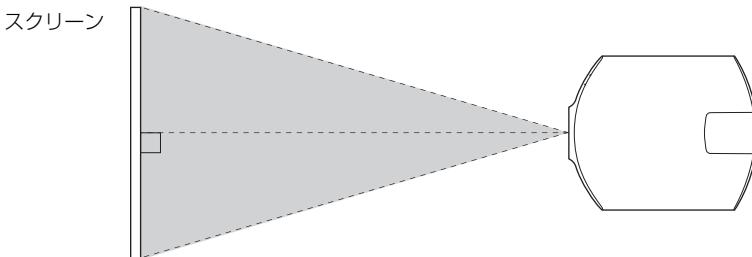
本機はレンズシフトにより、置き場所を広範囲に選べて簡単に美しい映像をご覧いただけます。

設置する

お使いになるスクリーンの大きさ（投影サイズ）やレンズシフト使用の有無によって、スクリーンと本機との位置関係が変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。スクリーンまでの距離（投写距離）と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（☞ 89 ページ）をご覧ください。

1 本機をスクリーンに平行になるように置く。

上から見た図



2 スクリーンに画像を映して画面の位置を調整する。（☞ 9 ページ）

ご注意

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によっては、まれに画面上に縞模様が現れることがあります。これは本機の故障ではありません。

天井つりする場合

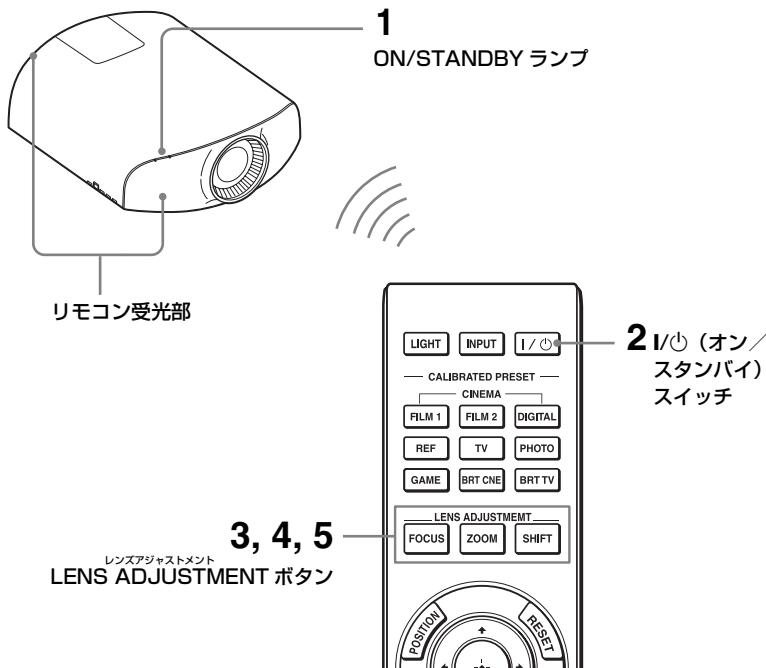
特約店様へ

天井に取り付ける際は、ソニー製のプロジェクターサスペンションサポート PSS-H10 をご使用のうえ、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。

詳しくは、PSS-H10 の取付説明書をご覧ください。

準備 2：画面の位置を調整する

スクリーンに画像を映して画面の位置を調整します。



ちょっと一言

- ・本体側面の **I/U** (オン／スタンバイ)、**INPUT**、**MENU**、**↑/↓/←/→/□** (ジョイスティック) ボタンは、リモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをし、**LENS** ボタンはリモコンの **LENS ADJUSTMENT** ボタン (**FOCUS**、**ZOOM**、**SHIFT**) と同じ働きをします。
 - ・本体のコントロールパネルでレンズを調整する場合は、**LENS** ボタンを押すたびに調整機能が切り換わります。

FOCUS → ZOOM → SHIFT

ご注意

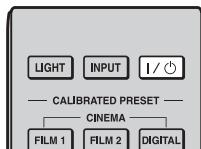
設置場所によってはリモコンで操作できないことがあります。その場合は、リモコンを本機リモコン受光部またはスクリーンに向けて操作してください。

- 1** 電源コードを本機につないでから、電源プラグをコンセントに差し込む。

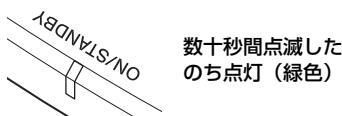
ON/STANDBY ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。



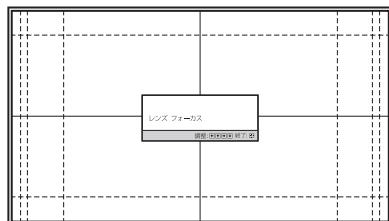
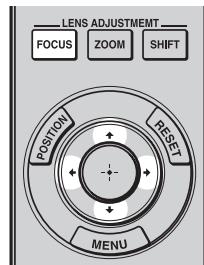
- 2** **I/O** (オン／スタンバイ) ボタンを押して電源を入れる。



レンズプロテクターが開きます。
ON/STANDBY ランプが緑色に点滅したあと、点灯します。



- 3** **LENS ADJUSTMENT** ボタン (FOCUS) を押してレンズ調整画面 (パターン画面) を表示し、**↑/↓/←/→** ボタンで画面のピントを合わせる。



ちょっと一言

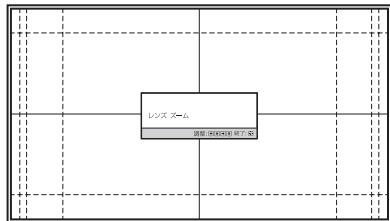
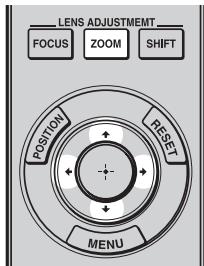
「 設置設定」メニューの「レンズコントロール」が「切」に設定されている場合は、FOCUS ボタンや ZOOM ボタン、SHIFT ボタンによる調整ができません。
(☞ 51 ページ)

「 機能設定」メニューの「テストパターン」が「切」に設定されている場合は、「パターン画面」が表示されません。
(☞ 50 ページ)

ご注意

レンズの調整は、リモコンまたは本体のコントロールパネルのボタンで行ってください。レンズを直接手で回すことは破損や故障の原因となりますので、おやめください。

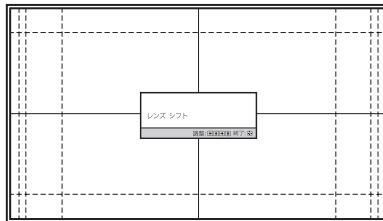
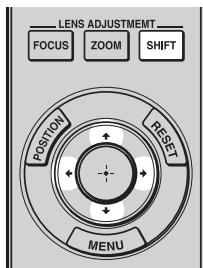
4 LENS ADJUSTMENT ボタン (ZOOM) を押してレンズ調整画面 (パターン画面) を表示し、 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで画面の大きさを合わせる。



\uparrow/\rightarrow ボタンを押すと、画面は大きくなります。

\downarrow/\leftarrow ボタンを押すと、画面は小さくなります。

5 LENS ADJUSTMENT ボタン (SHIFT) を押してレンズ調整画面 (パターン画面) を表示し、 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで画面の位置を合わせる。



ちょっと一言

パターン画面は無操作状態が 1 分間続くと消えます。

また、 (\oplus) ボタンを押すと、いつでもパターン画面を消すことができます。

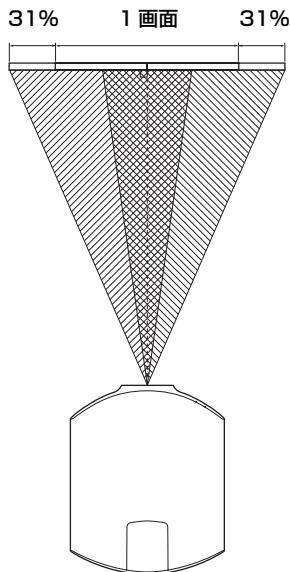
ご注意

画面の位置を調整するときは、指をはさむ恐れがありますので、レンズには手を触れないようにしてください。

左右の位置を合わせるには

◀/▶ ボタンを押す。

レンズの中心から左右に、それぞれ画面幅の最大 31% 画面ずつ投影画面を移動できます。



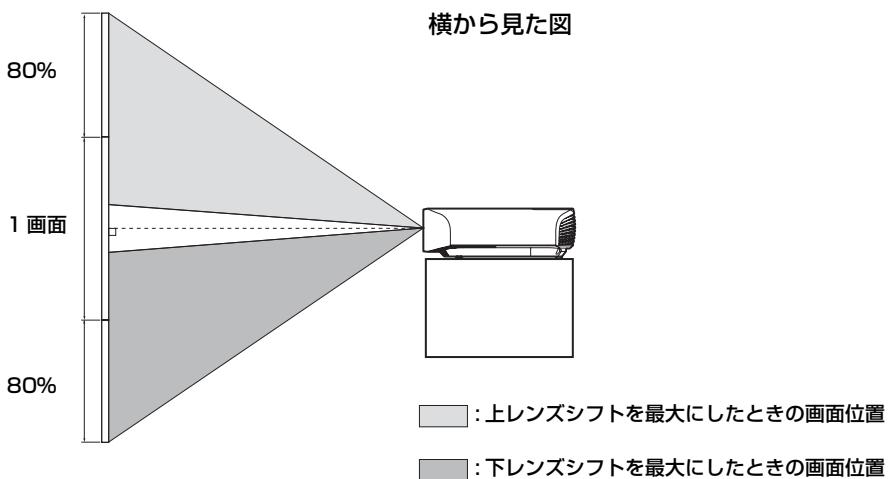
上から見た図

■: 左レンズシフトを最大にしたときの画面位置
■: 右レンズシフトを最大にしたときの画面位置

上下の位置を合わせるには

↑/↓ ボタンを押す。

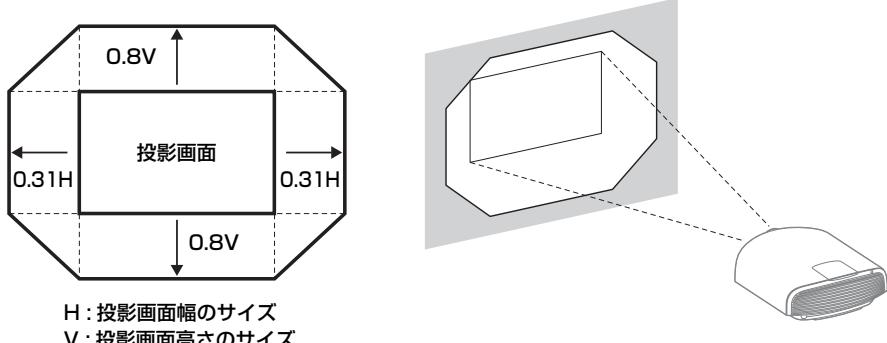
レンズの中心から上下に、それぞれ画面高さの最大 80% 画面ずつ投影画面を移動できます。



ご注意

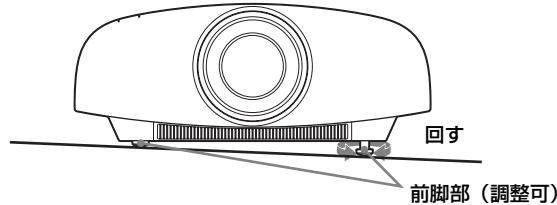
投影画面の移動は、下図のような 8 角形の範囲内でのみ調整できます。詳細は「投写距離とレンズシフト量」(☞ 89 ページ) をご覧ください。

投影画面の移動範囲



設置面の傾きを調整するには

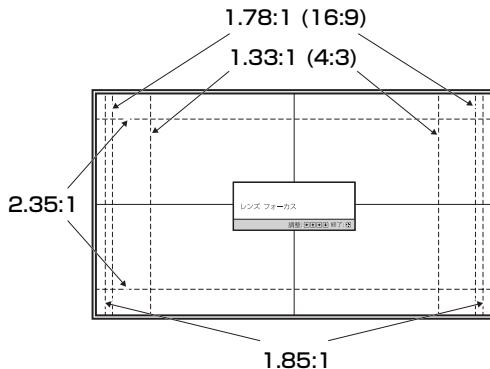
本機を置く台などが水平でない場合は、前脚部（調整可）を使って調整できます。



ご注意

- ・本体を垂直方向に傾けると、投影画面が台形に歪みますのでご注意ください。
- ・前脚部（調整可）を回す際は、手を挟まないようご注意ください。

レンズ調整画面（パターン画面）



破線は各アスペクト比の画角を示しています。

準備 3：機器をつなぐ

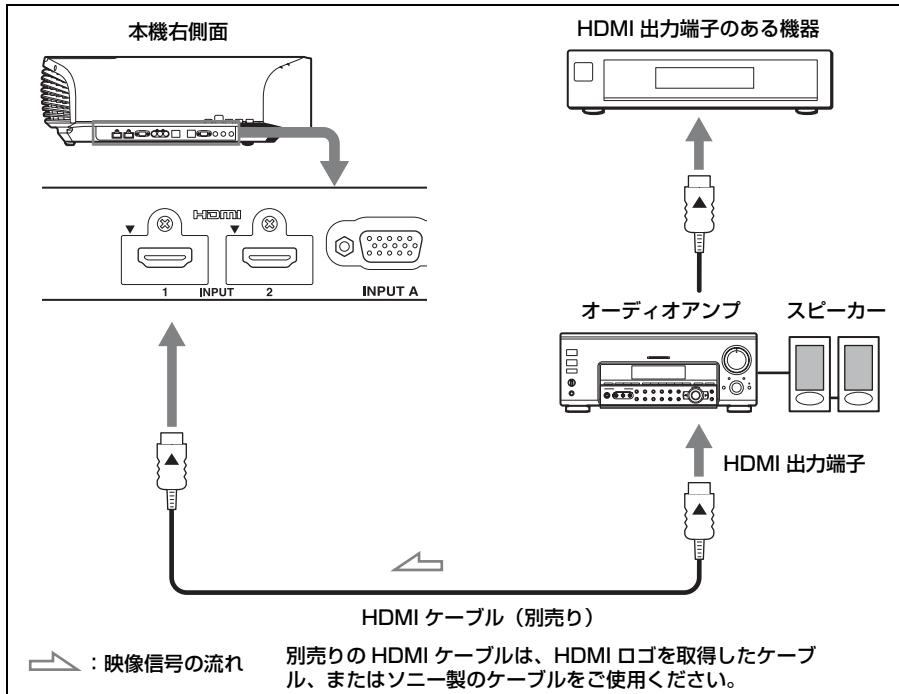
接続するときは

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不充分な接続は動作不良、画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオ機器をつなぐ

HDMI 出力端子のある機器をつなぐ場合

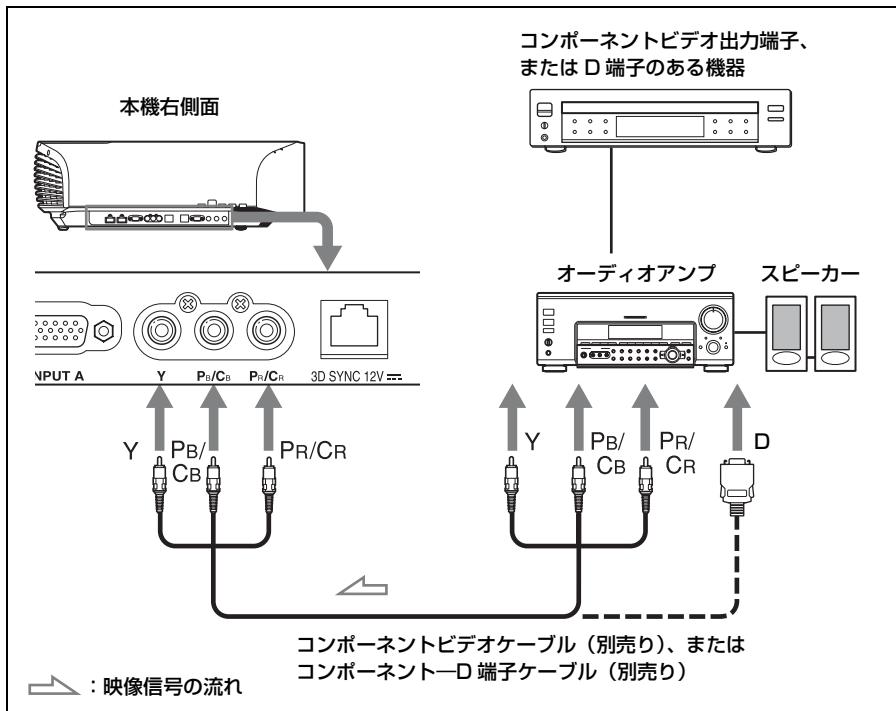
HDMI 出力端子のある DVD プレーヤー／レコーダー、ブルーレイディスク (BD) プレーヤー／レコーダー、プレイステーション® などは、本機の HDMI 入力端子につなぐとより高品質の映像をお楽しみいただけます。さらに、HDMI 機器制御対応機器であれば、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。詳しくは「**■ 機能設定**」メニューの「HDMI 機器制御設定」(☞ 48 ページ) および「HDMI 機器制御について」(☞ 62 ページ) をご覧ください。



ご注意

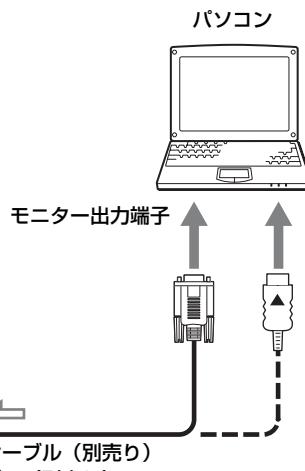
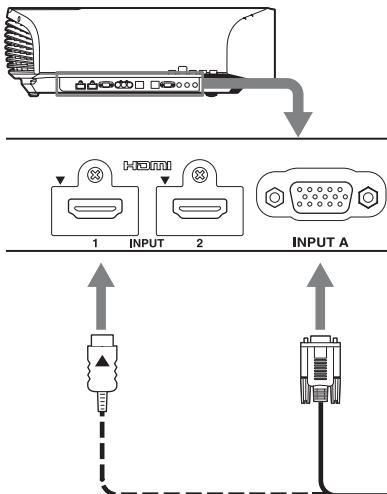
- HDMI ケーブルは「High Speed」タイプをご使用ください。「Standard」タイプを使用すると、1080p、DeepColor、3D の映像、4K の映像が正しく表示できない場合があります。
- HDMI ケーブルをつなぐ際は、本機端子の上部にある ▼ とケーブル端子部の ▲ が向かい合うように接続してください。
- HDMI ケーブルでつないだ機器の映像が正しく映らない場合は、つないだ機器の設定を確認してください。

コンポーネントビデオ出力端子、または D 端子のある機器をつなぐ場合



パソコンをつなぐ

本機右側面



: 映像信号の流れ

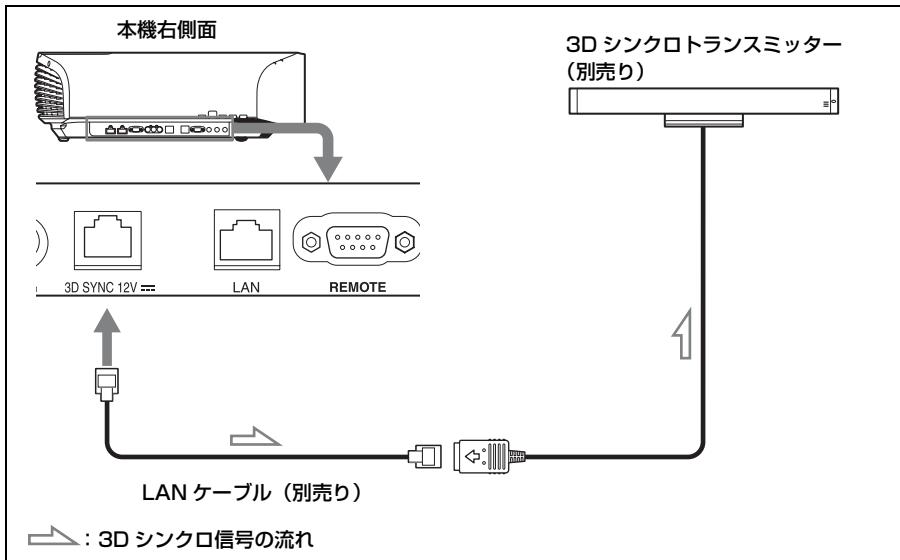
別売りの HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したケーブル、またはソニー製のケーブルをご使用ください。

ご注意

- HDMI ケーブルは「High Speed」タイプをご使用ください。「Standard」タイプを使用すると、1080p の映像が正しく表示できない場合があります。
- HDMI ケーブルをつなぐ際は、本機端子の上部にある ▼ とケーブル端子部の ▲ が向かい合うように接続してください。
- ノート型のパソコンで、出力信号をパソコンの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に output するように設定すると、本機に正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターのみに信号が出力されるように、パソコンを設定してください。パソコンの設定については、パソコンのメーカーへお問い合わせください。
- HDMI ケーブルでつなぎだ機器の映像が正しく映らない場合は、つなぎだ機器の設定を確認してください。

3Dシンクロトランスマッターをつなぐ

本機の設置環境によっては、本機に内蔵されている3Dシンクロトランスマッターからの信号を3Dメガネが正しく受信できない場合があります。その場合は、別売りの3Dシンクロトランスマッターを視聴位置の近くに設置することで、3D映像をお楽しみいただけます。



ちょっと一言

3Dシンクロトランスマッターは、3Dメガネに直接向けるように設置してください。また、3Dメガネが安定して動作するように、視聴する場所のそばに置くことをおすすめします。

ご注意

- ・3D SYNC端子は3Dシンクロトランスマッター専用の端子です。ネットワークや他の機器は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- ・市販のLANケーブル（ストレートタイプ）を使用することで、3Dシンクロトランスマッターを本機から離して使うことができます。
特定の周波数の妨害波が連続的に発生する環境では、まれに3D映像と3Dメガネの同期がはずれることがあります。
妨害波によって同期がはずれる場合は、カテゴリーセブンと記載されたケーブルをご使用ください。
さらに妨害波の多い環境下で3D映像をご覧になる場合は、本機に内蔵のトランスマッターコードのご使用をおすすめします。
- ・ケーブルは15m以下のものを使用し、中継アダプターなどを使用して延長しないでください。また、LANケーブルはできるだけACコードから離して接続してください。

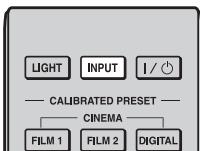
- ・接続できる 3D シンクロトランスマッターは 1 台です。複数を接続した場合、故障の原因となることがあります。
- ・3D シンクロトランスマッターを接続しているとき、本機前面に内蔵されている 3D シンクロトランスマッターはオフになります。両方を同時に使用することはできません。

見る

この章では、本機につないだ DVD プレーヤーなどの映像をスクリーンに映して見るときの操作を説明します。また、お好みに合わせた画質でご覧になる操作も説明しています。

映像を投写する

- 1 本機と、本機に接続した機器の電源を入れる。
- 2 INPUT ボタンを押して、スクリーンに入力選択パレットを表示させる。



- 3 スクリーンに映したい機器を選ぶ。

INPUT ボタンを繰り返し押すか、
↑/↓/ (確定) ボタンで映したい機器を選びます。



例：本機の HDMI 1 端子につないだビデオの画像を見る

画像を見たい機器	選択する画面表示
本機の INPUT A 端子につないだ機器	入力 A
本機の Y Pb/Cb Pr/ Cr 端子につないだ機器	コンポーネント
本機の HDMI 1 端子につないだ機器	HDMI 1
本機の HDMI 2 端子につないだ機器	HDMI 2

ちょっと一言

- 「 機能設定」メニューの「オート入力サーチ」が「入」に設定されている場合は、入力選択パレットには現在入力信号のある入力だけが表示されます。
- 「 初期設定」メニューの「画面表示」が「切」に設定されている場合は、入力選択パレットは表示されません。INPUT ボタンを押すと、順に入力端子が切り換わります。
- 「 機能設定」メニューの「HDMI 機器制御」が「入」に設定されている場合は、HDMI 1 端子または HDMI 2 端子につないだ機器の操作と連動して、自動的に入力端子に切り換わります。ただし、つないだ機器が HDMI 機器制御に対応している場合に限ります。
- メニュー画面やメッセージなどの表示言語は、「 初期設定」メニューの「表示言語」で変更することができます。(☞ 45 ページ)

電源を切る

1 I/待機 (オン/スタンバイ) ボタンを押す。

「パワーオフしますか?」というメッセージが表示されます。

2 メッセージが消える前に I/待機 (オン/スタンバイ) ボタンをもう一度押す。

レンズプロテクターが閉じます。指や物を挟まないように注意してください。

ON/STANDBY ランプが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。はじめは早い間隔で点滅します。この間は再び I/待機 (オン/スタンバイ) ボタンを押してもランプは点灯しません。

ファンが止まり、ON/STANDBY ランプが緑色の点滅から赤色の点灯に変わります。

以上で電源が切れました。電源コードを抜くことができます。

ご注意

ランプの点滅中は、電源コードを抜かないでください。

上記の手順のかわりに I/待機 (オン/スタンバイ) ボタンを約 1 秒押したままにしても電源が切れます。

3D 映像を楽しむ

本機では付属の 3D メガネを使って、3D テレビゲームや 3D ブルーレイディスクなどの迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

1 接続した 3D 対応の HDMI 機器の電源を入れ、3D コンテンツを再生する。

3D コンテンツの再生方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源を入れ、スクリーンに 3D 映像を映す。

映像の映しかたについて詳しくは、「映像を投写する」(☞ 20 ページ) をご覧ください。

3 3D メガネの電源を入れ、3D メガネを正しく装着する。

3D メガネの使いかたについて詳しくは、「3D メガネを使う」(☞ 22 ページ) をご覧ください。

ちょっと一言

- ・本機は、3D 信号を検出したときに自動的に 3D 映像を映すよう、お買い上げ時に「2D-3D 表示選択」を「オート」に設定しています。
- ・3D 映像を 2D 映像でご覧になりたいときは、「2D-3D 表示選択」を「2D」に設定してください。(☞ 47 ページ)

ご注意

- ・信号の種類によっては、自動的に3D映像は表示されません。視聴する映像の3Dフォーマットを確認して「2D-3D表示選択」を「3D」に、「3Dフォーマット」を「左右分割方式」または「上下分割方式」に設定してください。(☞47ページ)
- ・3Dメガネの受信範囲をご確認のうえ、ご使用ください。(☞23ページ)
- ・3D映像はHDMI入力のときのみ見ることができます。ブルーレイディスク(BD)プレーヤーやゲーム機などの3D機器は、HDMIケーブルで接続してください。
- ・3D映像の見えかたには個人差があります。
- ・使用環境の温度が低いときは、3D効果が出にくいことがあります。

3Dの調整と設定

3Dの調整と設定は、リモコンの3Dボタンおよび「 機能設定」メニューの「3D設定」で行います。詳しくは、「3D設定」をご覧ください。(☞47ページ)

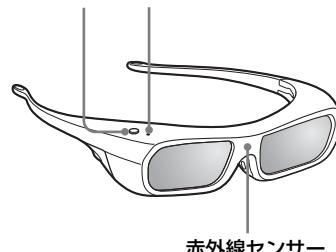
3Dメガネを使う

3D信号は、本機の前面に内蔵されている3Dトランスミッターからスクリーンへ反射させて3Dメガネに届きます。3D映像を見るときは、3D信号が正しく受信できるようスクリーンの方向を向いてください。

1 3Dメガネの電源ボタンを押す。

LEDランプが緑色に点滅します。

電源ボタン LEDランプ



2 3Dメガネをかける。

3 スクリーンの方向へ向く。

使用上のご注意

3Dメガネは本機前面の3Dシンクロトランスミッターからの赤外線をスクリーンに反射させて受光します。以下の場合に、正しく動作しないことがあります。

- 3Dメガネがスクリーンの方向を向いていない場合。
- 3Dメガネの前方に障害物などがある場合。
- 視聴している場所がスクリーンから離れすぎている、また本機とスクリーンの距離が遠すぎる場合。
- 赤外線機器（照明機器、暖房機器、IR送受信器）が近くにある場合。

3D メガネの動作範囲

以下の図 A、図 B は、3D メガネの動作範囲の目安です。動作範囲を超えて視聴したり、本機を設置すると 3D メガネは動作しにくくなります。また、角度と距離は部屋の環境やスクリーンの種類、本機の設置状況によって異なります。

図 A：3D シンクロ信号が到達可能な距離（シフト量 0.5V の場合）

横から見た図

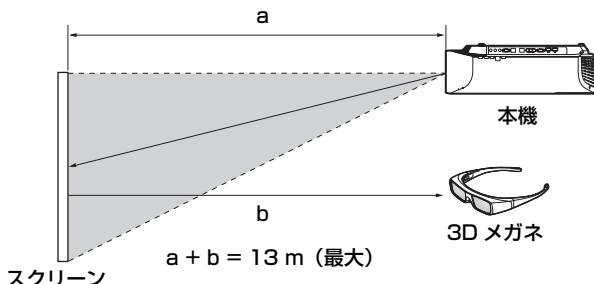
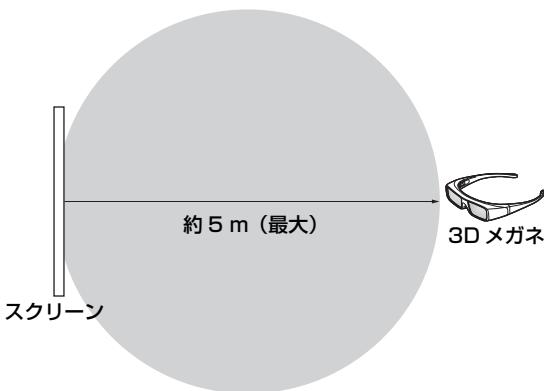


図 B：3D メガネの動作範囲（本機とスクリーンの設置距離が 8 m 時のイメージ）

上または横から見た図



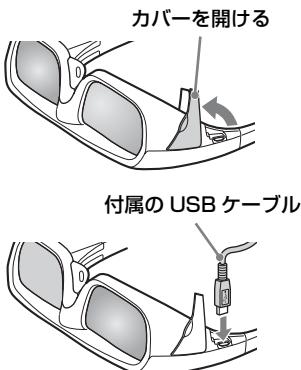
3D メガネを充電する

3D メガネを充電するときは、本機に付属の USB 充電 AC アダプターをお使いください。

ご注意

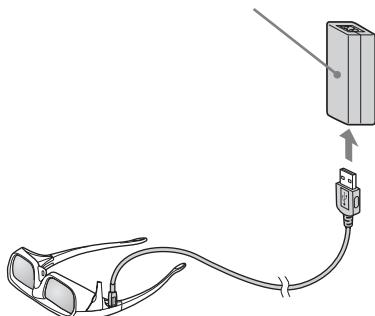
本機に付属の充電用 USB ケーブルを、本機に付属する USB 充電 AC アダプター以外の USB 端子に接続すると、故障や発熱、発火等の原因になります。

- 1 3D メガネの電源を切る。
- 2 3D メガネのカバーを開けて、本機に付属の充電用 USB ケーブルを接続する。

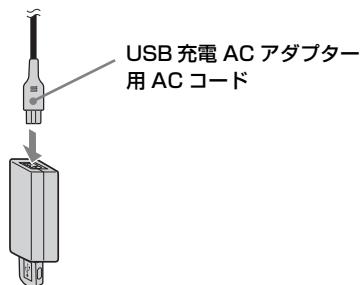


- 3 USB ケーブルを付属の USB 充電 AC アダプターの USB 端子に接続する。

付属の USB 充電 AC アダプター



- 4 USB 充電 AC アダプター用 AC コードを付属の USB 充電 AC アダプターに接続する。



- 5 USB 充電 AC アダプターをコンセントに接続する。

3D メガネの充電が始まります。充電中は 3D メガネの LED ランプがオレンジ色に点灯します。
(充電が完了すると、LED ランプは消えます。)

USB 充電 AC アダプター使用上のご注意

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

・異常に高温になる場所

炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。

・直射日光の当たる場所、熱器具の近く

変形したり、故障したりすることがあります。

・激しい振動のある場所

- ・アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質ことがあります。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ・殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質することがあります。

使用について

- ・強い衝撃を与えると、落としたりしないでください。
- ・使用後は必ず USB 充電 AC 電源アダプターをコンセントから抜いておいてください。
- ・コンセントから抜くときは AC コードのプラグを持って抜いてください。
- ・USB 充電 AC アダプターの接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。

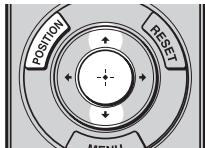
お手入れについて

- ・汚れたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

ピクチャーポジションを使う

レンズの設定（フォーカス、画面の大きさ、画面位置）とアスペクト比の組み合わせを5つまで保存、呼び出すことができます。

1 POSITION ボタンを押す。



ピクチャーポジション選択パレットが表示されます。



2 POSITION ボタンを繰り返し押すか、↑/↓/⊕ボタンを押してポジションを選ぶ。

選んだポジションが呼び出されます。

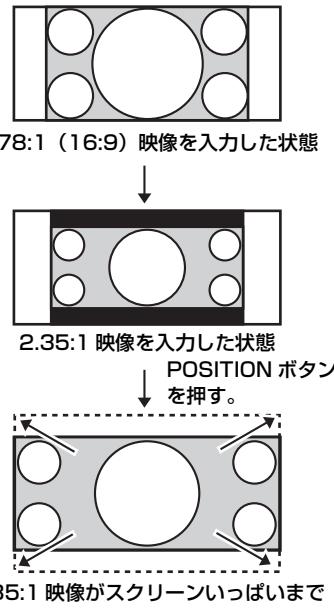
レンズの設定を保存する、または削除するときは、「 スクリーン設定」メニューの「ピクチャーポジション」で行います（☞ 42ページ）。

レンズの設定が保存されていないポジションは「---」と表示されます。

レンズの動きのイメージ

ここでは、2.35:1スクリーンに1.78:1(16:9)と2.35:1のアスペ

クト映像を複数投写する場合を例としています。



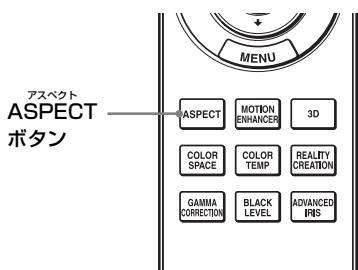
2.35:1 映像がスクリーンいっぱいまで拡大されます。

ご注意

- ・ポジションを選択、確定するとレンズが動き出します。レンズ付近に物を置いていたり、触れたりしないでください。けがや故障の原因になります。
- ・動作中にリモコンや本体のボタンを押すと、動作が停止します。その場合は再度ポジションを選択するか、レンズの調整を行ってください。
- ・ピクチャーポジション機能は、レンズ設定状態の再現を100%保証するものではありません。
- ・レンズズームを使って、複数のアスペクトのスクリーン画角を併用するときは、投写距離表（☞ 90ページ）を参考して本機を範囲内に設置してください。設定位置によっては、この表の範囲内でもレンズシフトの範囲に制約が生じる場合があります。

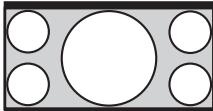
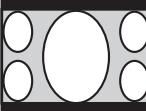
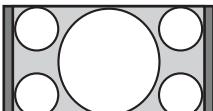
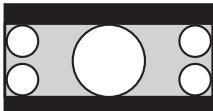
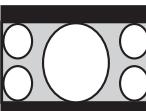
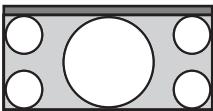
映像に合わせてアスペクト比を切り換える

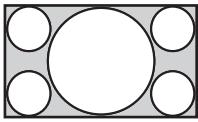
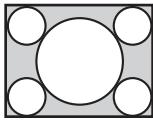
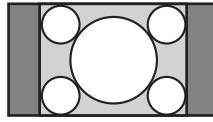
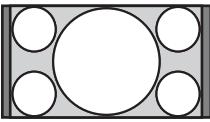
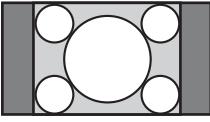
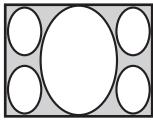
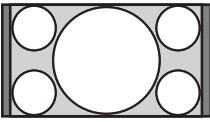
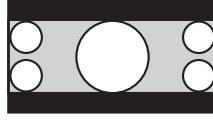
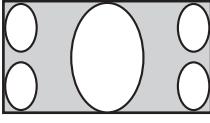
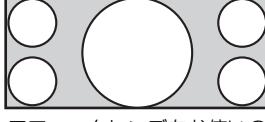
お好みのアスペクト比を選べます。

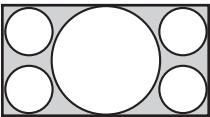
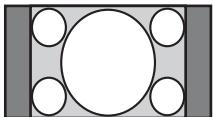
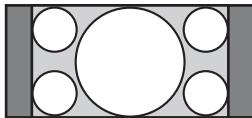


ASPECT ボタンを押す。

押すたびに、「アスペクト」の設定が順次切りわります。
メニューでも選べます。(☞ 43 ページ)

オリジナル映像	おすすめの設定とそのときに投写される映像
 1.85:1  スクイーズ 1.85:1	<p>「1.85:1 ズーム」</p> 
 2.35:1  スクイーズ 2.35:1	<p>「2.35:1 ズーム」</p> 

オリジナル映像	おすすめの設定とそのときに投写される映像
 <p>1.78:1 (16:9)</p>  <p>1.33:1 (4:3)</p>  <p>サイドパネル付き 1.33:1 (4:3)</p>	<p>「ノーマル」</p>  
 <p>スクイーズ</p>	<p>「ストレッチ」</p> 
 <p>2.35:1</p>	<p>「Vストレッチ」</p>  <p>↓</p>  <p>アナモフィックレンズをお使いの場合</p>

オリジナル映像	おすすめの設定とそのときに投写される映像
 16:9	<p>「スクイーズ」</p>   アナモフィックレンズをお使いの場合

ご注意

- ・入力信号によって、選択できる項目が異なります。（☞ 86 ページ）
- ・コンピューター信号入力時、プリセットメモリーナンバー 76～79、96 信号（☞ 80 ページ）入力時は、アスペクトは選択できません。

アスペクト切換時のご注意

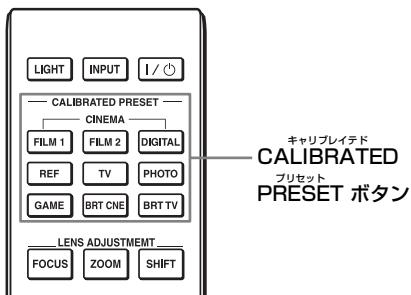
- ・テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご注意してアスペクトを選択してください。
- ・営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト切り換え機能などをを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画質を選ぶ

使用する場所や映像ソースに合った画質を選ぶことができます。

各プリセットモードは、2D／3D それぞれで異なる設定を保存、使用することができます。

CALIBRATED PRESET ボタンを押す。



設定モード	説明
CINEMA FILM1 (シネマ フィルム 1)	最高画質といわれるマスター・ポジ・フィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する画質設定
CINEMA FILM2 (シネマ フィルム 2)	FILM1 をベースに色調を変え、実際の映画館の映像美を再現する画質設定
CINEMA DIGITAL (シネマ デジタル)	DCI 仕様（☞ 63 ページ）に近似させながら、デジタルシネマ画質を再現する画質設定
REF (リファレンス)	コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定
TV (TV)	テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定
PHOTO (フォト)	デジタルカメラなどの静止画に適した画質設定
GAME (ゲーム)	ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定
BRT CINE (ブライトシネマ)	リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定
BRT TV (ブライト TV)	リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定

「ImageDirector3」を使って画質を調整する

「ImageDirector3」を使って、本機に接続したパソコンから、ガンマ値をお好みに応じて調整することができます。本機の REMOTE 端子にパソコンをつなぎ、パソコンから「ImageDirector3」を起動します。

「ImageDirector3」の使いかたについては、「ImageDirector3」内のヘルプをご覧ください。

ご注意

- ・「ImageDirector3」をパソコンにあらかじめインストールしておく必要があります。最新版の「ImageDirector3」をソニーのホームページからダウンロードし、ご使用ください。
<http://www.sony.jp/support/projector/index.html>
- ・REMOTE 端子または LAN 端子にパソコンをつなぐときは、パソコンおよび本機の電源を切った状態でつないでください。
- ・「 画質設定」メニューの「ガンマ補正」(☞ 40 ページ) が「切」のときは調整できません。
- ・「 画質設定」メニューの「ガンマ補正」(☞ 40 ページ) で 1.8、2.0、2.1、2.2、2.4、2.6、ガンマ 7～ガンマ 10 を選択した場合、「ImageDirector3」上で表示は、それぞれ順にガンマ 1～ガンマ 10 となります。
- ・3D 信号を入力しているときや、3D 映像を表示しているときは、「ImageDirector3」を使用すると画像が乱れことがあります。

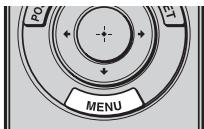
メニュー画面で調整や設定をする

この章では、メニュー画面で画質を細かく調整したり、画面の位置やサイズ、アスペクトを調整するなどの操作を説明しています。

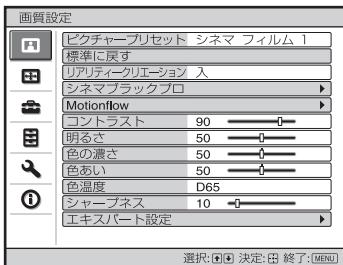
メニュー操作のしかた

本機では、各種調整や設定をメニュー画面で行います。項目名の後ろに矢印(▶)が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定できる項目が表示されます。

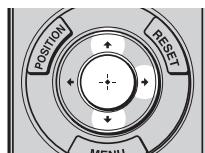
1 MENU ボタンを押す。



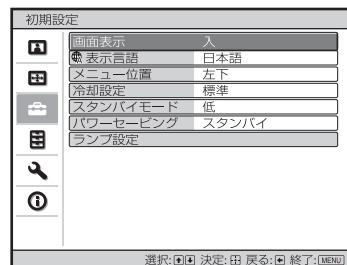
メニュー画面が表示されます。



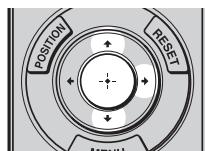
- 2 ↑/↓ボタンを押してメニュー項目を選び、→または⊕ボタンを押す。



調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目が白色で表示されます。

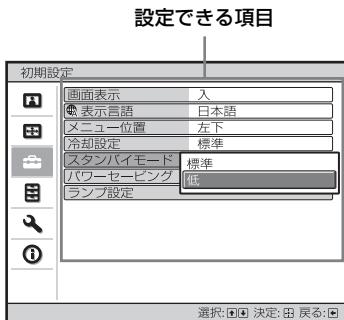


- 3 ↑/↓ボタンを押して設定したい項目を選び、→または⊕ボタンを押す。

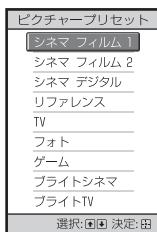


設定できる項目が、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューまたは次の階層に表示されます。

ポップアップメニュー



設定メニュー



調整メニュー



次の階層に表示された画面



4 調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合は

数値を大きくしたいときは、 \uparrow/\rightarrow ボタンを押す。 \oplus ボタンを押すと設定が確定し、元のメニュー画面に戻ります。

数値を小さくしたいときは、 \downarrow/\leftarrow ボタンを押す。 \ominus ボタンを押すと元のメニュー画面に戻ります。

設定を変更する項目の場合は

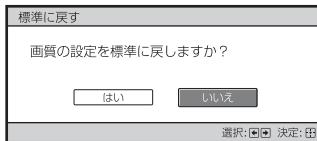
\uparrow/\downarrow ボタンを押して設定を選ぶ。 \oplus ボタンを押すと元の画面に戻ります。ただし項目によっては \leftarrow ボタンでも元の画面に戻ります。

メニュー画面を消すには

MENUボタンを押す。

調整した画質をお買い上げ時の値に戻すには

「 画質設定」メニューから「標準に戻す」を選択する。



画面表示されたら \leftarrow ボタンで「はい」を選択して \oplus ボタンを押す。

次の全項目の設定値がお買い上げ時の値に戻ります。

「 画質設定」メニューの「リアリティークリエーション」、「シネマブラックプロ」、「Motionflow」、「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「色温度」、「シャープネス」および「エキスパート設定」の各項目

調整、設定した項目をお買い上げ時の値に戻すには

メニュー画面で項目を選び、トップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューを表示する。

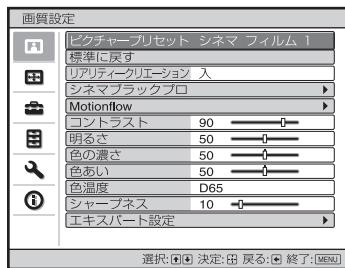
リモコンの RESET ボタンを押すと、選択した項目のみお買い上げ時の値に戻ります。

ご注意

リモコンの RESET ボタンは、調整メニューまたは設定メニューが選択されている状態でのみ有効です。

画質設定メニュー

画質を調整するメニューです。



ご注意

入力する信号の種類によっては、調整／設定できない項目があります。詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」(☞ 82 ~ 85 ページ) をご覧ください。

[] 内の項目名はリモコン記載の名称です。

ピクチャー ブリセット [CALIBRATED PRESET]	<p>使用する場所や映像ソースに合った画質を選ぶことができます。</p> <p>各ブリセットモードは、2D / 3D それぞれで異なる設定を保存、使用することができます。</p> <p>「シネマ フィルム 1」：最高画質といわれるマスターPOジフィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する画質設定です。</p> <p>「シネマ フィルム 2」：FILM1 をベースに色調を変え、実際の映画館の映像美を再現する画質設定です。</p> <p>「シネマ デジタル」：DCI仕様（☞ 63 ページ）に近似させながら、デジタルシネマ画質を再現する画質設定です。</p> <p>「リファレンス」：コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定です。</p> <p>「TV」：テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定です。</p> <p>「フォト」：デジタルカメラなどの静止画に適した画質設定です。</p> <p>「ゲーム」：ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定です。</p>
--	--

ピクチャー プリセット [CALIBRATED PRESET]	<p>「ブライトシネマ」：リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定です。</p> <p>「ブライト TV」：リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像を見るのに適した画質設定です。</p> <p>ちょっと一言 画質を調整した場合はその設定が入力端子ごとに保存されます。</p>
標準に戻す	<p>現在選択しているプリセットモードの設定を、すべてお買い上げ時の設定に戻します。（☞ 33 ページ）</p> <p>ちょっと一言 「色温度」のカスタム 1 ~ 5 の調整値は保持されます。</p>
リアリティー クリエーション [REALITY CREATION]	<p>精細度とノイズ処理を調整してリアルな画像にします。（超解像機能）</p> <p>「入」：リアリティークリエーションの設定を変更できます。</p> <p>「データベース」：「ノーマル」または「Mastered in 4K」を選択します。</p> <p>「Mastered in 4K」は、ソニー・ピクチャーズエンタテインメント製の Blu-ray Disc™（Mastered in 4K）に適した画質になります。</p> <p>ちょっと一言 「データベース」は、プリセットメモリーナンバー 14、20（☞ 79 ページ）以外の信号では選択できません。</p> <p>「精細度」：設定値を上げると、質感やディテール感が向上し、鮮鋭感のある映像になります。</p> <p>「ノイズ処理」：設定値を上げると、ザラツキ等のノイズが目立たなくなります。</p> <p>「入 / 切 比較」：「入」「切」が一定周期で切り換わり、リアリティークリエーションの効果を確認することができます。</p> <p>ちょっと一言 比較中のステータスの表示位置は「メニュー位置」（☞ 45 ページ）の設定に連動します。</p> <p>「切」：リアリティークリエーション機能をオフにします。</p>

シネマブラック プロ	<p>アドバンストアイリス [ADVANCED IRIS]</p> <p>アイリス機能を切り替えます。</p> <p>「オート フル」：入力ソースの輝度レベルに応じてアイリス（絞り）を自動で調整して光量を最適化します。さらに、ピーク白と暗部の階調表現を最適化する信号処理により広いダイナミックレンジを表現します。明るく、高いコントラストによる力強い映像が特徴です。</p> <p>「オート リミテッド」：「オート フル」より明るさを抑え、暗室での視聴に適した映像になります。</p> <p>「手動」：絞り値（固定）を手動で調整します。</p> <p>「切」：アイリス（絞り）機能を使用しません。</p>
シネマブラック プロ	<p>ランプコントロール</p> <p>ランプ出力を切り替えます。</p> <p>「高」：輝度が上がり、明るい画面になります。</p> <p>「低」：輝度が下がり、明るさを抑え黒を引き締めます。</p> <p>ちょっと一言</p> <p>「低」にするとファンの回転音や消費電力が下がり、またランプの寿命を延ばすことができます。</p>
Motionflow	<p>フィルムプロジェクトション</p> <p>フィルム投影映像描写を再現します。</p> <p>ご使用になるコンテンツや好みに応じて使い分けてください。</p> <p>「入」：残像感を低減させます。</p> <p>「切」：「入」よりも残像感の低減効果は減りますが、明るい画質になります。</p> <p>モーションエンハンサー [MOTION ENHANCER]</p> <p>動きの速い映像を、残像感を少なく、なめらかに再現します。</p> <p>「強」：「弱」よりなめらかな画質になります。</p> <p>「弱」：なめらかな画質設定です。</p> <p>「切」：モーションエンハンサー機能をオフにします。</p> <p>ちょっと一言</p> <p>シーンによっては、画像にデジタル特有のノイズが出る場合がありますので、その場合は「オフ」にしてください。</p>
コントラスト [CONTRAST]	<p>映像のコントラストを調整します。</p> <p>設定値を大きくすると映像のメリハリが強くなり、小さくすると弱くなります。</p> <p>リモコンの CONTRAST+ / - ボタンで調整できます。</p>

明るさ [BRIGHTNESS]	映像の明るさ（輝度）を調整します。 設定値を大きくすると明るくなり、小さくすると暗くなります。 リモコンの BRIGHTNESS+ / - ボタンで調整できます。
色の濃さ	色の濃さを調整します。 設定値を大きくすると濃くなり、小さくすると薄くなります。
色あい	色あいを調整します。 設定値を大きくすると緑がかり、小さくすると赤みがかります。
色温度 [COLOR TEMP]	色温度を調整します。 「D93」：一部のテレビで標準的に用いられる 9,300 K 相当の色温度です。 白い部分が青みがかった冷たい色調になります。 「D75」：補助標準光とされる 7,500 K 相当の色温度です。 「D93」と「D65」の中間の色調になります。 「D65」：標準光とされる 6,500 K 相当の色温度です。 白い部分が赤みがかった暖かい色調になります。 「DCI」：DCI 仕様（☞ 63 ページ）の色温度です。 「D55」：補助標準光とされる 5,500 K 相当の色温度です。 白い部分がさらに赤みがかった暖かい色調になります。 「カスタム 1～5」： 好みに合わせた色温度を調整、設定、保存できます。 お買い上げ時は、以下のように設定されています。 カスタム 1：色温度は「D93」と同じ設定 カスタム 2：色温度は「D75」と同じ設定 カスタム 3：色温度は「D65」と同じ設定 カスタム 4：色温度は「DCI」と同じ設定 カスタム 5：色温度は「D55」と同じ設定
シャープネス [SHARPNESS]	映像の輪郭をはっきりさせたり、ノイズを目立たなくします。 設定値を大きくすると輪郭がくっきりし、小さくすると柔らかくなりノイズを目立たなくします。 リモコンの SHARPNESS+ / - ボタンで調整できます。

エキスパート 設定	<p>NR (ノイズリダクション) 映像のざらつきやノイズを低減します。 通常は「切」でお使いください。 ノイズが気になる場合、「弱」、「中」、「強」からソースに応じて選んでください。</p>
	<p>MPEG NR (MPEG ノイズリダクション) デジタル特有のブロックノイズやモスキートノイズを低減します。 通常は「切」でお使いください。 ノイズが気になる場合、「弱」、「中」、「強」からソースに応じて選んでください。</p>
	<p>スムースグラデーション 画像の平坦部のグラデーションを滑らかにします。 「強」、「中」、「弱」：スムースグラデーションの効果を変更できます。 「切」：スムースグラデーション機能をオフにします。</p>
	<p>フィルムモード 映像の素材にあわせて、再生する方法を設定します。 「オート 1」：映画オリジナルの動きを再現するのに適しています。 通常は「オート 1」のままお使いください。 「オート 2」：映画ソフトなど 2-3、2-2 ブルダウン方式の素材を自動で検出して、なめらかな動きで再現します。また、2-3、2-2 ブルダウン方式以外の素材の場合は、プログレッシブ再生します。 「切」：上記自動検出を行わず、プログレッシブ再生のみ行います。</p>
	<p>黒補正 [BLACK LEVEL] 好みに合わせて、黒を強調してコントラストを強くできます。 「強」、「中」、「弱」：黒補正の効果を変更できます。 「切」：黒補正機能をオフにします。</p>

エキスパート 設定	<p>ガンマ補正 [GAMMA CORRECTION] 補正映像の階調の応答特性を設定します。</p> <p>好みに合わせて 10 通りの階調の中から選択できます。</p> <p>「1.8」: 明 全体的に明るい映像になります。 「2.0」 「2.1」 「2.2」 「2.4」 「2.6」: 暗 全体的に暗い映像になります。</p> <p>「ガンマ 7」: 映像の暗い部分を明るくし、階調表現が豊かになります。 「ガンマ 8」: 明暗をやや強調した画質になります。 「ガンマ 9」: 明暗を「ガンマ 8」より強調した画質になります。 「ガンマ 10」: フィルムのガンマカーブに準じた設定になっています。 「切」: ガンマ補正を行いません。 「ImageDirector3」(☞ 31 ページ) を使うと、好みに応じて階調を調整でき、調整した値はパソコンに保存できます。 「ImageDirector3」の使いかたについて詳しくは、「ImageDirector3」内のヘルプをご覧ください。</p>
	<p>カラーコレクション</p> <p>「入」: 色再現の中間域を、選択しているカラースペースに応じて補正します。 「切」: カラーコレクション機能をオフにします。</p>
	<p>クリアホワイト</p> <p>お好みに合わせて、白の鮮明さを強調できます。 「強」、「弱」: クリアホワイトの効果を変更できます。 「切」: クリアホワイト機能をオフにします。</p>
	<p>x.v.Color</p> <p>x.v.Color 映像信号を再生する場合に設定します。</p> <p>x.v.Color 対応した機器をつないで、x.v.Color 映像信号を再生するときは、「入」に設定します。 x.v.Color について詳しくは、「x.v.Color (エックスブイ・カラー) について」(☞ 63 ページ) をご覧ください。</p> <p>ちょっと一言</p> <p>x.v.Color が「入」のときは、ガンマ補正は調整できません。「カラースペース」の設定 (☞ 41 ページ) もご覧ください。</p>

エキスパート 設定	<p>カラースペース [COLOR SPACE]</p> <p>色空間を切り替えます。</p> <p>「BT.709」：ハイビジョン放送やブルーレイディスクに用いられる HDTV 規格 ITU-R BT.709 の色空間です。sRGB と同等の色空間となります。</p> <p>「DCI」：DCI 仕様（☞ 63 ページ）に準じた色空間です。</p> <p>「Adobe RGB」：sRGB より広い色再現領域を持つ Adobe RGB に近似した色空間で、Adobe RGB 規格で記録した映像の表示に適しています。</p> <p>「カラースペース 1」：テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した色空間です。</p> <p>「カラースペース 2」：x.v.Color 対応した機器をつないで、x.v.Color 映像信号を忠実に再生するための色空間です。</p> <p>「カラースペース 3」：リビングルームなどの明るい環境で、映像を楽しむのに適した色空間です。</p>
--------------	--

■ スクリーン設定メニュー

入力信号や画面のサイズ、アスペクト切り換えなどを設定できます。



ご注意

入力する信号の種類によっては、調整／設定できない項目があります。詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」(☞ 82～85 ページ) をご覧ください。

[] 内の項目名はリモコン記載の名称です。

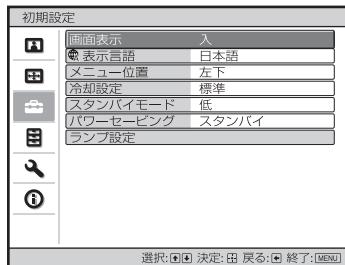
ピクチャー ポジション [POSITION]	<p>レンズの設定とアスペクト比の組み合わせを 5 つまで保存することができます。</p> <p>レンズとアスペクトを設定後、調整したスクリーン画角に合わせて「1.85:1」、「2.35:1」、「カスタム 1」～「カスタム 3」の中からお好みのポジションを選択、確定したあと、「保存」、「削除」、または「選択」を行ってください。</p> <p>「保存」：現在のレンズの設定（フォーカス、画面の大きさ、画面位置）を、選択したポジションに保存します。すでに調整状態が保存されている場合は上書きします。</p> <p>「削除」：保存されている調整状態を削除します。削除されると、「1.85:1」、「2.35:1」、「カスタム 1」～「カスタム 3」の表示が「--」に変わります。</p> <p>「選択」：選択したポジションが呼び出されます。</p> <p>ちょっと一言</p> <p>各ピクチャーポジションには、最適なアスペクトがあらかじめ登録されています。これらのアスペクトはピクチャーポジションごとに変更、保存することができます。</p>
------------------------------	---

ピクチャー ポジション [POSITION]	<p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポジションを選択、確定するとレンズが動き出します。レンズ付近に触れないでください。けがや故障の原因になります。 ・動作中にリモコンや本体のボタンを押すと動作が停止します。その場合は再度ポジションを選択するか、レンズの調整を行ってください。 ・ピクチャーポジション機能を使って 2.35:1 と 16:9 のスクリーン画角を併用する場合は、本機の設置位置にご注意ください。（☞ 26 ページ） ・ピクチャーポジション機能は、レンズ調整状態の再現を 100% 保証するものではありません。
アスペクト [ASPECT]	<p>入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します（☞ 27 ページ）。動画信号入力時（プリセットメモリーナンバー 3～14、74、75、93、94、95）（☞ 79 ページ）の場合のみ設定できます。</p> <p>「1.85:1 ズーム」：1.85:1 映像の上下の黒帯が表示されないように縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。</p> <p>「2.35:1 ズーム」：2.35:1 映像の上下の黒帯の表示範囲が小さくなるように縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。</p> <p>「 設置設定」メニューの「トリガー切替 1/2」で「2.35:1 ズーム」を選ぶと、TRIGGER1/TRIGGER2 端子から 12 V の信号が出力されます（☞ 51 ページ）。</p> <p>「ノーマル」：入力映像の縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。</p> <p>1.78:1（16:9）、1.33:1（4:3）映像におすすめの設定です。</p> <p>「ストレッチ」：1.33:1（4:3）にスクイーズされた映像を 1.78:1（16:9）の縦横比で映します。</p> <p>「Vストレッチ」：市販のアナモフィックレンズを用いて、2.35:1 映像を 2.35:1 スクリーンで見る場合に最適なモードです。</p> <p>「 設置設定」メニューの「トリガー切替 1/2」で「Vストレッチ」を選ぶと、TRIGGER1/TRIGGER2 端子から 12 V の信号が出力されます（☞ 51 ページ）。</p>

アスペクト [ASPECT]	<p>「スクイーズ」：市販のアナモフィックレンズを用いて、1.78:1 (16:9) や 1.33:1 (4:3) 映像を見る場合に、正しい縦横比で映します。</p> <p>ちょっと一言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「V ストレッチ」、「スクイーズ」選択時は、「 設置設定」メニューの「アナモフィックレンズ」で、ご使用になるアナモフィックレンズに合わせてタイプを選択してください。 ・入力信号によって、選択できる項目が異なります。 ・コンピュータ信号入力時、プリセットナンバー 76 ~ 79、96 信号入力時は、アスペクトは選択できません。
オーバースキャン	<p>映像の周囲を表示するかを設定します。</p> <p>「入」：入力映像の周囲を表示しません。映像の端にノイズなどが見える場合にはこちらに設定します。</p> <p>「切」：入力映像をすべて表示します。</p> <p>ちょっと一言</p> <p>画面の上下左右の表示領域を調整するときは「 設置設定」メニューの「ブランкиング」（☞ 52 ページ）をご覧ください。</p>
入力信号調整	<p>入力信号を調整します。</p> <p>「フェーズ」：アナログコンピューター信号入力時、画素とコンピューター信号の位相を調整します。一番くっきり見える数値にします。</p> <p>「ピッチ」：アナログコンピューター信号入力時、画面の水平方向のサイズを調整します。数値を大きくするとサイズが大きくなり、小さくするとサイズが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値にあわせます。（☞ 79、80 ページ）</p> <p>「シフト」：画面の位置を調整します。</p> <p>「H」（水平）：数値を大きくすると画面が右に、小さくすると画面が左に移動します。◀/▶ ボタンを押して設定します。</p> <p>「V」（垂直）：数値を大きくすると画面が上に、小さくすると画面が下に移動します。↑/↓ ボタンを押して設定します。</p>

初期設定メニュー

お買い上げ時の設定などを変更するメニューです。



画面表示	メッセージなどを表示するかを設定します。 「切」に設定すると、一部のメニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。
表示言語	メニュー画面やメッセージなどの表示言語を設定します。
メニュー位置	画面上のメニューの表示位置を変えることができます。 「左下」：メニューを画面の左下に表示します。 「中央」：メニューを画面の中央に表示します。
冷却設定	気圧に応じて設定します。 「強」：1,500 m 以上の高地で使用の場合に設定します。 「標準」：平地での使用時に設定します。 ちょっと一言 設定を「強」にした場合、ファンの回転数が上がるため、音が少し大きくなります。
スタンバイモード	スタンバイ時の消費電力を設定します。 「標準」：通常の消費電力になります。 「低」：スタンバイ時の消費電力を少なくします。 ちょっと一言 設定を「低」にした場合、「HDMI 機器→ PJ 電源連動」制御が無効になり、動作しません（メニューにも表示されません）。また、スタンバイ時はネットワーク機能は動作しません。

パワー セービング (節電モード)	<p>パワーセービングを設定します。</p> <p>「ランプオフ」：本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプを消灯して消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、コントロールパネル、またはリモコンのボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、ON/STANDBY ランプはオレンジ色に点灯します。 (☞ 4 ページ)</p> <p>「スタンバイ」：本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。</p> <p>「切」：パワーセービング機能を無効にします。</p>
ランプ設定	光源用ランプ交換をしたときに、設定します。(☞ 74 ページ)

■ 機能設定メニュー

本機の機能の設定を変更するメニューです。



メニュー画面で調整や設定をする

3D 設定	<p>3D に関する設定を変更できます。</p> <p>「2D-3D 表示選択」：映像の表示を 2D と 3D に切り替えます。</p> <p>「オート」：3D 情報が含まれる HDMI 信号を入力したときは 3D で表示し、それ以外の信号のときは 2D で表示します。</p> <p>「3D」：「3D フォーマット」で選択した 3D 方式で表示します。ただし、3D 情報が含まれる HDMI 信号を入力した場合は、信号に含まれる 3D 情報の形式に従って表示します。</p> <p>「2D」：常に 2D で表示します。</p> <p>* 3D 情報とは、3D を識別する付加情報です。HDMI 信号には、3D を識別する付加情報が含まれる信号と、含まれない信号があります。</p> <p>「3D フォーマット」：3D 情報を含まない信号を受信したとき、どのフォーマットに従って映像を 3D 表示するかを設定します。</p> <p>「シミュレーテッド 3D」：通常の 2D 映像を 3D 映像に変換します。HD 信号のときはのみ設定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 映像ソースによっては 3D 効果が現れにくい場合があります。・ 3D 映像の見えかたには個人差があります。 <p>「左右分割方式」：類似の映像が左右に並んで表示される 3D 方式のときに選びます。</p> <p>「上下分割方式」：類似の映像が上下に並んで表示される 3D 方式のときに選びます。</p> <p>「3D 明るさ」：3D 表示時の画面の明るさを調整します。「明」「標準」の 2 段階から選択できます。</p>
-------	---

3D 設定	<p>「3D 奥行き調整」：画面上の 3D 表示の奥行きを調整します。「シミュレーテッド 3D」以外の方式で 3D 表示している場合に調整できます。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">奥行き感</td><td style="text-align: center;">-2</td><td style="text-align: center;">-1</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">+1</td><td style="text-align: center;">+2</td></tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">手前</td><td style="text-align: center;">←</td><td style="text-align: center;">通常</td><td style="text-align: center;">→</td><td style="text-align: center;">奥</td></tr> </table> <p>通常は「0」がおすすめです。設定によっては 3D として見えにくくなります。</p> <p>「シミュレーテッド 3D 効果」：2D コンテンツを 3D に変換しているときの 3D 効果を調整します。「強」「中」「弱」の 3 段階から選択できます。</p> <p>ちょっと一言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像のソースによっては「2D-3D 表示選択」を「3D」に設定できません。対応している 3D 信号については「対応 3D 信号一覧」(☞ 84 ページ) をご覧ください。 ・スクリーンサイズ（100～120 インチを推奨）や映像のソースによっては 3D 効果が現れにくいことがあります。 ・シミュレーテッド 3D 機能による 3D 映像の見えかたには個人差があります。 ・3D 表示中は、メニュー画面が二重に見える場合があります。その場合は、3D メガネをかけてメニュー画面を操作してください。 	奥行き感	-2	-1	0	+1	+2		手前	←	通常	→	奥
奥行き感	-2	-1	0	+1	+2								
	手前	←	通常	→	奥								
3D SYNC 出力	<p>3D SYNC 端子の出力を変更します。</p> <p>「標準」：内蔵の 3D シンクロトランスマッターおよび外付け 3D シンクロトランスマッター TMR-PJ2（別売り）に適した出力です。</p> <p>「オプション」：TMR-PJ2 以外のトランスマッターを接続する場合にこちらを選びます。</p> <p>ご注意</p> <p>「オプション」でご使用になれるトランスマッターは、国・地域によって販売されていないことがあります。</p>												
HDMI 機器制御設定	<p>HDMI 機器制御に関する設定を変更できます。</p> <p>「HDMI 機器制御」：HDMI 1、2 入力端子に HDMI 制御に対応した機器をつないでいるときに、HDMI 機器制御を有効にするかどうかを設定します。</p> <p>「入」に設定すると、以下のことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つないでいる HDMI 機器制御対応機器と本機との間で、連動した操作ができるようになります。 ・「HDMI 機器制御設定運動」* 対応のソニー製機器（AV アンプやビデオなど）の、HDMI 機器制御設定も運動して有効になります。 												

HDMI 機器制御設定

「PJ → HDMI 機器電源運動」：本機の電源を切るときに、つないでいる HDMI 機器制御対応機器の電源も連動して切るかどうかを設定します。

「入」に設定すると、本機の電源を切ると機器の電源も連動して切れます。

「HDMI 機器→ PJ 電源運動」：本機の電源を、つないでいる HDMI 機器制御対応機器に連動させることができます。

「入」に設定すると、つないだ機器の電源を入れたり再生などの操作をすると、本機の電源も自動的に入ります。

ちょっと一言

「入」にする場合は、「 初期設定」メニューの「スタンバイモード」(☞ 45 ページ) を「標準」に設定してから、「HDMI 機器→ PJ 電源運動」を「入」にしてください。詳しくは「HDMI 機器制御について」(☞ 62 ページ) をご覧ください。

「HDMI 機器一覧」：つないでいる HDMI 機器制御対応機器を一覧表示します。

「有効にする」を選ぶと、「HDMI 機器制御設定連動」* 対応のソニー製機器（AV アンプやビデオなど）の、HDMI 機器制御設定も有効になります。

HDMI機器一覧		
入力端子	機器	種類
HDMI 1	プレーヤー 1	BD
HDMI 2	プレーヤー 2	DVD

つないだ機器のHDMI機器制御を有効にしますか？
有効にする前に、機器側の電源を入れてください。
認識しない機器は、機器側の設定を確認してください。

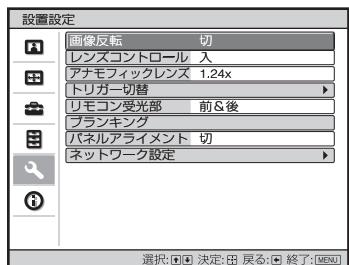
決定:田 戻る:MENU

*「HDMI 機器制御設定連動」は、本機の HDMI 機器制御設定を有効にすると、HDMI 入力端子につないだ機器の HDMI 機器制御設定も有効にする機能です。ソニー製以外の機器では対応していません。

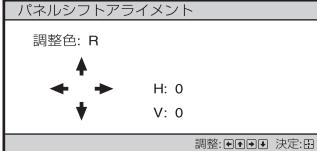
HDMI ダイナミックレンジ	<p>HDMI1/HDMI2 端子の入力レベルを設定します。</p> <p>「オート」：自動で映像入力レベルを判別します。</p> <p>「リミテッド」：映像入力レベルが、16-235 のときに設定します。</p> <p>「フル」：映像入力レベルが、0-255 のときに設定します</p> <p>ご注意</p> <p>HDMI 接続機器の映像出力設定が合っていないと、明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎたりします。</p>
オート入力サーチ	<p>映像信号がある入力のみを選択するようにできます。</p> <p>「入」に設定すると、INPUT ボタンを押したとき表示される入力選択パレットには、信号のない入力は表示されません。</p> <p>すべての入力を表示させるときは「切」に設定します。（☞ 20 ページ）</p>
テストパターン	<p>テストパターン表示の有無を選択します。</p> <p>「入」：レンズのフォーカス、ズーム、シフト調整時に、テストパターンが表示されます。</p> <p>「切」：テストパターンが表示されません。</p> <p>ちょっと一言</p> <p>テストパターン表示時は、フォーカスが合わせやすいように緑単色の表示となります。</p>
無信号入力時背景	信号が入力されていないときの画面の色を選択できます。 「ブラック」または「ブルー」に設定できます。

🔍 設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。



画像反転	画像を水平または垂直方向に反転します。 「切」、「上下左右」、「左右」、「上下」があり、天井つり設置やスクリーンの裏面投射設置するときなどに使用します。
レンズ コントロール	レンズ関連の調整（「レンズフォーカス」、「レンズズーム」、「レンズシフト」）を誤って変更しないようにします。 「入」：レンズの調整ができます。 「切」：レンズの調整ができません。
アナモフィック レンズ	アナモフィックレンズの変換倍率に合わせて選択します。 「1.24x」：水平 1.24 倍のアナモフィックレンズ使用の場合に選択します。 「1.32x」：水平 1.32 倍のアナモフィックレンズ使用の場合に選択します。
トリガー切替	TRIGGER（トリガー）1/TRIGGER2 端子の出力機能を切り替えます。 「切」：トリガー端子の機能をオフにします。 「電源」：本機の電源が入っているとき、TRIGGER1、TRIGGER2 端子から 12 V の信号を出力します。本機の電源がオフのときは、信号は出力されません。 「V ストレッヂ」：「アスペクト」（☞ 43 ページ）の「V ストレッヂ」選択時に連動して TRIGGER1、TRIGGER2 端子から 12 V の信号を出力します。 「2.35:1 ズーム」：「アスペクト」（☞ 43 ページ）の「2.35:1 ズーム」選択時に連動して TRIGGER1、TRIGGER2 端子から 12 V の信号を出力します。

リモコン受光部	<p>リモコンの効きが悪いとき、本体前面と後面にあるリモコン受光部を切り替えます。</p> <p>「前＆後」：前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき。</p> <p>「前」：前面のリモコン受光部のみを働かせるとき。</p> <p>「後」：後面のリモコン受光部のみを働かせるとき。</p>
ブランкиング	<p>画面の上下左右の表示領域を調整します。</p> <p>↑/↓ ボタンで変更をしたいスクリーンの側面を「左 / 右 / 上 / 下」の中から選択します。</p> <p>←/→ ボタンでブランкиング量を調整します。</p>  <p>ちょっと一言 アスペクト設定によっては、左右にブランкиングがかからない場合があります。</p>
パネルアライメント	<p>文字や映像の色ずれを微調整します。</p> <p>「入」にすると、「調整色」の指定や「調整パターン色」の指定を行い調整することができます。</p> <p>「調整アイテム」：調整方法を以下より選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「シフト」：画面全体をシフトして調整します。 「ゾーン」：調整したい範囲を指定して調整します。 <p>「調整色」：色ずれの気になる色を指定します。「G」（緑）を基準に調整するため、「R」（赤）または「B」（青）を選択します。</p> <p>「調整パターン色」：「調整色」が「R」（赤）の場合は、「R/G」（赤と緑）または「R/G/B」（白、全色）を選択します。「調整色」が「B」（青）の場合は、「B/G」（青と緑）または、「R/G/B」（白、全色）を選択します。</p> <p>「調整」：「調整色」で選択した色のシフト調整およびゾーン調整を行います。 ←/→、↑/↓ ボタンで行います。</p> <p>「シフト」選択時：シフト調整画面で ←/→ ボタンで水平方向 (H)、↑/↓ ボタンで垂直方向 (V) の調整量を設定します。</p> 

パネルアライメント

「ゾーン」選択時：調整する位置を、 \leftarrow/\rightarrow ボタンで水平位置（H位置）、 \uparrow/\downarrow ボタンで垂直位置（V位置）を選択し、 \oplus ボタンを押します。



\leftarrow/\rightarrow ボタンで水平方向（H 方向）、 \uparrow/\downarrow ボタンで垂直方向（V 方向）の調整量を設定します。 \oplus ボタンを押すと、調整する位置を再度選択できます。



「リセット」：設定がお買い上げの時の値に戻ります。

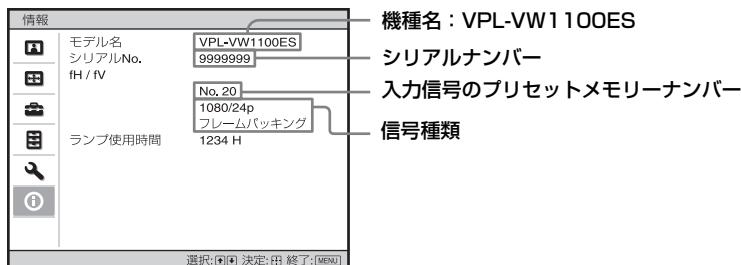
ご注意

- ・調整値によっては、色付きや解像感に変化が生じる場合があります。
- ・「ゾーン」の調整値によっては、「シフト」調整ができない場合があります。

ネットワーク 設定	<p>インターネットプロトコル設定を行います。</p> <p>パソコンからアクセス（☞ 57 ページ）する場合に設定します。</p> <p>「IP アドレス設定」：IP アドレスの設定方法を選択します。</p> <p>「自動 (DHCP)」：ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。</p> <p>「手動」：手動でネットワークを設定します。</p> <p>「IP アドレス設定」で「手動」を選択したときには、\leftarrow/\rightarrow ボタンで入力する値を選び、\uparrow/\downarrow ボタンで値を入力します。全ての設定が終了したら、「適用」を選び、\oplus ボタンを押すと設定が有効になります。</p> <p>「IP アドレス」：本機の IP アドレスを設定します。（1.0.0.0 ~ 223.255.255.255）</p> <p>「サブネットマスク」：本機のサブネットマスクを設定します。（1.0.0.0 ~ 255.255.255.255）</p> <p>「デフォルトゲートウェイ」：本機のデフォルトゲートウェイを設定します。（1.0.0.0 ~ 223.255.255.255）</p> <p>「プライマリ DNS」：優先して使用する DNS サーバーを設定します。（1.0.0.0 ~ 223.255.255.255）</p> <p>「セカンダリ DNS」：代替の DNS サーバーを設定します。（1.0.0.0 ~ 223.255.255.255）</p> <p>「MAC アドレス」：本機の MAC アドレスを表示します。変更はできません。</p>
--------------	--

① 情報メニュー

本機の機種名、シリアルナンバー、投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。



モデル名	機種名 (VPL-VW1100ES) を表示します。
シリアル No.	シリアルナンバーを表示します。
fH (水平周波数)	水平周波数を表示します。
fV (垂直周波数)	垂直周波数を表示します。
プリセットメモリーナンバー	入力信号のプリセットメモリーナンバーを表示します。
信号種類	入力信号の解像度を表示します。入力信号に 3D 情報が含まれている場合は、解像度と 3D フォーマットの形式を表示します。
ランプ使用時間	ランプの使用時間を累積して表示します。

ご注意

- fH (水平周波数) と fV (垂直周波数) は、お使いの入力信号によっては表示されないことがあります。
- 上記の項目は調整や変更できません。

プリセットメモリーについて

本機では、お買い上げ時に、「プリセット信号一覧」(☞ 79 ページ) に記載されている信号に対して最適な表示となるよう映像データがあらかじめ設定されています（プリセットメモリー）。これらの信号を入力したときは、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な映像でスクリーンに映します。「① 情報」メニューの画面に入力信号のプリセットメモリーナンバーと信号種類が表示されます。

プリセットされたデータを「■ スクリーン設定」メニューでさらに調整できます。

また、プリセットメモリーとは別に、アナログコンピューター信号用に 20 個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号の設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力されたときは、メモリーナンバー 0 と表示され、「■ スクリーン設定」メニューの「入力信号調整」から設定を更新すると、本機に登録されます。登録数が 20 個を超えると、古いデータから順番に上書きされます。

ご注意

入力するコンピューター信号によっては、画面の一部が欠けたり正しく表示されない場合があります。

ネットワーク機能を利用する

本機をネットワークに接続することで、以下のことができます。

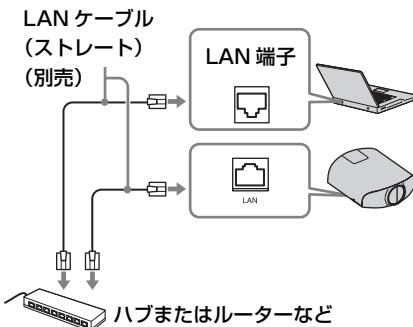
- ・ウェブブラウザを利用して本機の現在の状況を確認する。
- ・ウェブブラウザを利用して本機を遠隔操作する。
- ・本機からメールレポートを受け取る。
- ・本機のネットワーク設定を行う。
- ・各種ネットワーク監視、制御プロトコル（SDAP（Advertisement）、SDCP（PJ Talk）、DDDP（AMX））を使用したコントロールを行う。
- ・ガンマコントロールソフトウェア「ImageDirector3」を使用する。

ご注意

- ・本機をネットワークに接続する際には、ネットワークを設定した人にご相談ください。また、セキュリティ対策されたネットワーク環境でご使用ください。
- ・プロジェクターをネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定から変更してください（☞ 59 ページ）。また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- ・ブラウザでの設定作業が完了したら、ログアウトするためにブラウザを閉じてください。
- ・説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 6/7/8 です。
- ・表示可能言語は英語のみです。
- ・コンピューターから本機にアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

ウェブブラウザで本機のコントロール画面を開く

1 LAN ケーブルをつなぐ。



2 本機のネットワーク設定を行う。

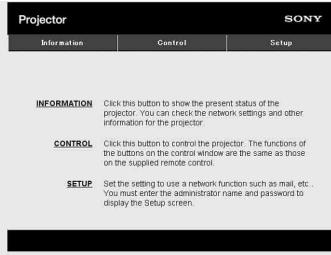
「 設置設定」メニューの「ネットワーク設定」で本機のネットワーク設定を行ってください。(☞ 54 ページ)

3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し Enter キーを押す。

http://xxx.xxx.xxx.xxx
(xxx.xxx.xxx.xxx : 本機の IP アドレス)

本機の IP アドレスは、「 設置設定」メニューの「ネットワーク設定」で確認できます。

ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。

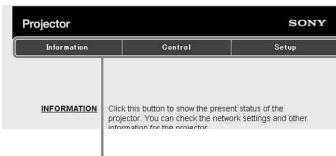


一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順 3 の操作だけでコントロール画面を表示できます。

コントロール画面を操作する

ページを切り換える

ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。



ページ切換えボタン

アクセス制限を設定する

各ページの利用者を次のように制限できます。

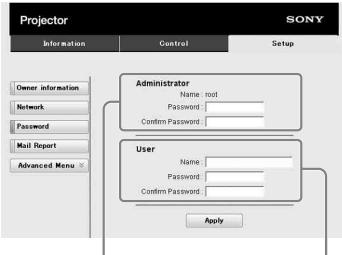
管理者：すべてのページにアクセス可能。

ユーザー：Setup ページ以外にアクセス可能。

Setup ページ内の Password ページから設定します。

初めて、Setup ページにアクセスするときは、ユーザー名「root」、パスワード「Projector」でアクセスしてください。

なお、管理者の名前は「root」に固定されています。



「管理者」権限の入力エリア

「ユーザー」権限の入力エリア

パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

本機の状態を確認する

Information ページを開くと、本機の現在の状態を確認できます。



情報エリア

本機を操作する

Control ページから本機を操作します。



操作エリア

各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じになります。

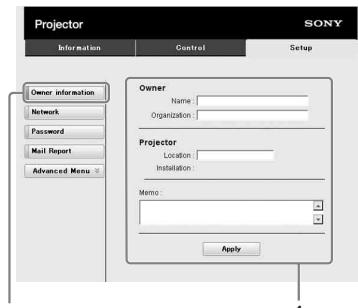
メールレポート機能を利用する

Setup ページからメールレポート機能を設定します。

Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

1 メールレポートに記載される所有者情報を入力する。

Owner information ボタンを押し、メールレポートに記載される所有者情報を入力します。



Owner information
ボタン

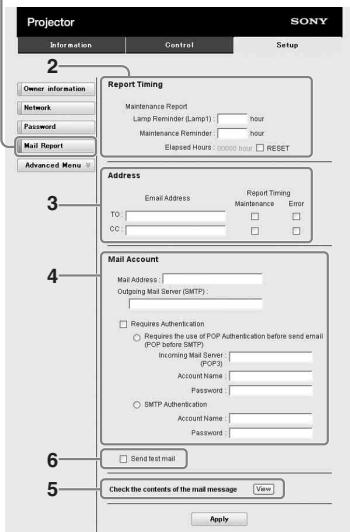
2 メールレポートのタイミングを設定する。

Mail Report ボタンを押し、Mail Report ページを開く。

Lamp Reminder (Lamp1) : ランプ交換のためのレポートタイミングを設定します。本体側でランプ設定初期化を実行するとリセットされます。(☞ 46 ページ)

Maintenance Reminder : 任意のメンテナンスのレポートタイミングを設定します。RESET チェックボックスをチェックし、Apply ボタンを押すとリセットされます。

Mail Report ボタン



3 送信先メールアドレスを入力する。

Email Address に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックをします。

4 メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。

Mail Address : メールアドレスを入力します。

Outgoing Mail Server

(SMTP) : 送信メールサーバー (SMTP) のアドレスを入力します。

Required Authentication : メール送信に認証が必要な場合にチェックします。

Requires the use of POP Authentication before send e-mail (POP before SMTP) : メール送信時に POP 認証を行った後に SMTP を使用するオプションです。

ル送信時に POP 認証を行う場合にチェックします。

Incoming Mail Server

(POP3) : POP3 認証で使用される受信メールサーバー (POP3) のアドレスを入力します。

Account Name : アカウント名を入力します。

Password : パスワードを入力します。

SMTP Authentication : メール送信時に SMTP 認証を行う場合にチェックします。

Account Name : アカウント名を入力します。

Password : パスワードを入力します。

5 メールレポートの内容を確認する。

View ボタンを押すと、送信されるメールレポートの内容が表示されます。

6 テストメールを送信する。

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

ご注意

- Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。
- 文字列が入力できるボックスに「」「"」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

その他

ここでは、その他の機能や、本機が正常に動かないときに解決する方法、光源用ランプの交換のしかたなどについて説明します。

HDMI 機器制御について

HDMI 機器制御とは

HDMI 機器制御とは、HDMI で規格化されている HDMI CEC (Consumer Electronics Control) を使った、機器間相互制御の機能です。HDMI 機器制御対応のテレビやプロジェクターに、ハードディスク搭載ブルーレイディスク (BD) プレーヤー／レコーダー、DVD プレーヤー／レコーダー、AV アンプなどを HDMI ケーブルでつなぐだけで、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMI 機器制御を使うには

- ・対応機器それぞれで正しい接続と設定をしてください。
- ・対応機器の主電源を切らないでください。
- ・本機で、対応機器を接続した HDMI 入力に切り換えてください。
- ・本機で、対応機器の映像が正常に出ることを確認してください。

対応機器をつなぐ

HDMI ケーブルでつなぎます。接続には、HDMI ロゴがついているものをお使いください。

HDMI 機器制御の設定をする

HDMI 機器制御を使うには、本機とつなないだ機器側でそれぞれの設定が必要です。本機の設定については、48 ページをご覧ください。つなないだ機器の設定はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。「HDMI 機器制御設定運動」に対応している機器を HDMI 入力端子につないでいるときは、本機の HDMI 機器制御設定を有効にすると、つなないだ機器の HDMI 機器制御設定も有効になります。

HDMI 機器制御でできること

- ・つなないだ機器の電源を入れたり再生などの操作をするだけで、本機の電源が入り、入力も自動で切り換わります。
- ・本機の電源を切るだけで、つなないだ機器の電源を自動的に切ることができます。

ご注意

- ・HDMI 機器制御できることは機器によって異なります。それぞれ機器の取扱説明書でご確認ください。
- ・同様の機能を搭載した他社製機器との間でも動作する場合もありますが、保証されたものではありません。

DCI 仕様について

DCI 仕様とは、デジタルシネマ上映システムの仕様で、ハリウッド映画6大スタジオで構成される業界標準化団体 DCI (Digital Cinema Initiative) で制定されたものです。

x.v.Color (エックスブイ・カラー) について

- ・ “x.v.Color” とは、xvYCC 規格に対応し、従来以上の広色域表現が可能な機器に付す名称としてソニーが提案している商標です。
- ・ xvYCC 規格とは、ビデオ映像信号の色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

シミュレーテッド 3D 機能について

- ・ シミュレーテッド 3D 機能を使うと、本機は 2D 映像を 3D 表示へ映像変換を行います。そのため、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、シミュレーテッド 3D 機能をお使いください。
- ・ 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいて、シミュレーテッド機能を利用して 2D 映像を 3D 表示に変換した場合、著作権法上保護されている著作者の権利を害する恐れがあります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">→ I/O (オン／スタンバイ) ボタンで電源を切った後すぐに電源を入れた場合に、電源が入らないことがあります。 約1分たってから電源を入れてください。→ 光源用ランプカバーをしっかりとめて、ネジをしめてください。(☞ 73ページ)→ 警告ランプを確認してください。(☞ 68ページ)
突然電源が切れた。	<ul style="list-style-type: none">→ 「 初期設定」メニューの「パワーセービング」の設定が「スタンバイ」になっていないか確認してください。(☞ 46ページ)→ 「パワーセービング」を「切」に設定してください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none">→ 再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。(☞ 15ページ) 再生する機器によっては、HDMI1端子に接続すると正常に動作しない場合があります。その場合は、HDMI2端子に接続し入力を選択し直してください。→ INPUTボタンで入力を正しく選んでください。(☞ 20ページ)→ コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。→ ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に outputするように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

症状	原因と対処
映像が2重に見える	→ 3D表示されています。3Dメガネを使用してご覧ください。 (☞ 22ページ) または、「2D-3D表示選択」を「3D」に設定してください。(☞ 47ページ) 2D表示でご覧になりたい場合は、「2D-3D表示選択」を「2D」に設定してください。
明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなり過ぎる。	→ HDMI規格からはずれたRGB信号レベルで入力されたときに症状が出る場合があります。つないだ機器のRGB出力レベルを切り換えるか、本機のHDMIダイナミックレンジを切り換えてください。(☞ 50ページ)
画面が暗い。	→ 「 画質設定」メニューで「コントラスト」、「明るさ」を正しく設定してください。(☞ 37ページ)
画面がぼやける。	→ 画面のフォーカスを合わせてください。(☞ 10ページ) → 結露が生じました。電源を入れたまま約2時間放置してください。
画面がちらつく。	→ アナログコンピューター信号入力の場合は、「 スクリーン設定」メニューの「入力信号調整」で「フェーズ」を調整してください。(☞ 44ページ)
文字や映像の色ずれが気になる。	→ 「 設置設定」メニューの「パネルアライメント」で調整してください。(☞ 52ページ)
画面に残像が現れる。	→ 画面の同じ位置にコントラストの強い静止画を長時間表示続けると、一時的な残像が現れることがあります。いったん電源を切り、しばらくすると残像は自然に消えます。

表示に関する項目

症状	原因と対処
画面表示が出ない。	→ 「 初期設定」メニューで「画面表示」の設定を「入」にしてください。(☞ 45ページ) → ON/STANDBYランプが緑に点滅していないか確認してください。緑色に点滅しているときは本機が起動途中です。緑色の点灯に変わるまでお待ちください。
画面にモデル名が表示され続ける。	→ お買い上げ時に本機の展示モードが設定されていることがあります。お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。
入力端子が表示されない。	→ 「 機能設定」メニューで「オート入力サーチ」の設定を「切」にしてください。(☞ 50ページ)

リモコンに関する項目

症状	原因と対処
リモコンが動かない。	<ul style="list-style-type: none">→ 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。→ 電池の を正しく入れてください。→ リモコン受光部の近くに蛍光灯があると誤動作することがあります。→ 別売りの 3D シンクロトランスマッターを使用している場合、3D シンクロトランスマッターを本機のリモコン受光部に向けるとリモコンが動きにくくなることがあります。→ 本機のリモコン受光部の位置を確認してください。(☞ 4 ページ)→ 「 設置設定」メニューで「リモコン受光部」の設定を「前 & 後」にしてください。(☞ 52 ページ)

3Dに関する項目

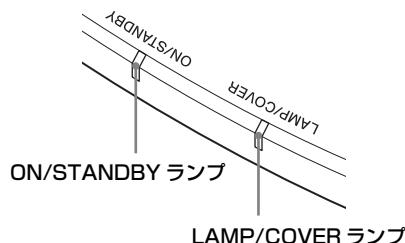
症状	原因と対処
映像が 3D に見えない	<ul style="list-style-type: none">→ 3D メガネの電源が入っているか確認してください。(☞ 22 ページ)→ 3D メガネが充電されているか確認してください。→ 入力が HDMI になっているか確認してください。→ 「2D-3D 表示選択」を「オート」または「3D」に設定してください。(☞ 47 ページ)→ 3D 対応の信号を確認してください。(☞ 84 ページ)→ 再生する機器の仕様などにより、本機に 3D 信号が入力されない場合があります。その場合は、再生する機器を再起動したり、もう一度再生操作を行ったりしてください。→ 視聴位置または本機の配置がスクリーンからが離れすぎている場合は 3D メガネが動作しにくくなります。(☞ 23 ページ)→ 別売りの 3D シンクロトランスマッターを使用している場合、正しく配置されているか確認してください。(☞ 18 ページ)→ スクリーンサイズが適切でない可能性があります。レンズズームの倍率を小さくするか、スクリーンから離れて視聴してください。(☞ 90 ページ)

その他

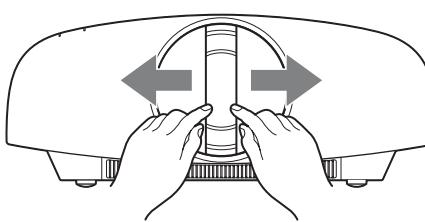
症状	原因と対処
ファンの音が気になる。	<ul style="list-style-type: none"> → 「冷却設定」を確認してください。 (☞ 45 ページ) → 室温が高くないか確認してください。 → 本機の設置条件を確認してください。 部品の信頼性を保つために、常温より室温が高くなるとファンの回転数が上がり、音が大きくなります。常温の目安は 25 ℃ です。
レンズシフトが動かない。	<ul style="list-style-type: none"> → レンズシフトは可動範囲を超える方向へは動きません。可動範囲内でご使用ください。 (☞ 13、89 ページ)
本体と接続機器の電源が連動して ON/OFF したり、再生したりする。	<ul style="list-style-type: none"> → 「HDMI 機器制御」、「HDMI 機器 → PJ 電源連動」、「PJ → HDMI 機器電源連動」が「入」になっています。設定を「切」にしてください。 詳しくは「HDMI 機器制御設定」(☞ 48 ページ) をご覧ください。

警告ランプ

本機では、本体前面の ON/STANDBY ランプと LAMP/COVER ランプの点灯または点滅で不具合をお知らせします。



症状	原因と対処
LAMP/COVER 赤色点滅（2回点滅パターンの繰り返し）	→ 光源用ランプカバーをしっかりとめて、ネジをしめてください。（☞ 73 ページ）
LAMP/COVER 赤色点滅（3回点滅パターンの繰り返し）	→ ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 → 症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください。（☞ 72 ページ）
ON/STANDBY 赤色点滅（4回点滅パターンの繰り返し）	→ ファンが故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。
ON/STANDBY 赤色点滅（2回点滅パターンの繰り返し）	→ 本体内部が高温になっています。排気口、吸気口がふさがっていないか、標高が高い場所で使用していないか確認してください。
ON/STANDBY 赤色点滅（6回点滅パターンの繰り返し）	→ I/待（オン／スタンバイ）ボタンを押して電源を入れてください。電源が入らない場合は、電源コードを抜いて ON/STANDBY ランプの消灯を確認してください。約 10 秒たってから、電源コードを差してもう一度電源を入れてください。それでもこの状態が続いたら、電気系統が故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。

症状	原因と対処
ON/STANDBY 赤色点滅（5回点滅パターンの繰り返し）	<p>→ レンズプロテクターが完全に開いていません。もう一度電源を入れ直してください。それでも直らない場合はソニーの相談窓口にご相談ください。</p> <p>ちょっと一言</p> <p>緊急で使用する場合は、レンズプロテクターを手で開いてください。（下図参照）■（オン／スタンバイ）ボタンを押すと電源が入り、使用することができます。</p> 

ご注意

上記以外の警告ランプ点滅ならびに上記対応を行っても解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

メッセージ	意味と対処
「セット内部温度が 高いです。1分後に ランプオフします。」	→ 電源を切ってください。 → 排気口、吸気口をふさいでいないか確認してください。 (☞ 5 ページ)
「入力信号の周波数 が対応範囲をこえて います！」	→ 入力信号の周波数範囲を超えてています。対応範囲内の信号を 入力してください。(☞ 79 ページ)
「ランプを交換して ください。」	→ 光源用ランプの交換時期がきました。光源用ランプを交換し てください。(☞ 72 ページ) → 光源用ランプ交換後も表示される場合は、光源用ランプを交 換するときの手順を確認してください。(☞ 72 ページ) ご注意 画面に表示されるメッセージを消す場合は、リモコンまたはコ ントロールパネルの任意のボタンを1回押してください。
「本機内部の温度が 高くなっていますの で、冷却設定を強に 切り替えます。高地 でご使用の際は、冷 却設定は強でお使い ください。」	→ 本機の吸排気口が塞がっていないか確認してください。 (☞ 5 ページ) → 高地で使用しているときは、冷却設定を「強」にしてください。 (☞ 45 ページ) ご注意 機内部温度が下がらないと、1分後に冷却設定が「強」に切り 換わり、ファンの回転数があがります。
「パワーセービング が設定されています。 1分後に自動的に ランプオフしま す。」	→ 「パワーセービング」が「ランプオフ」に設定されています。 (☞ 46 ページ) ご注意 入力信号がない場合、1分後にランプがオフします。
「パワーセービング が設定されています。 1分後に自動的に スタンバイになります。」	→ 「パワーセービング」が「スタンバイ」に設定されています。 (☞ 46 ページ) ご注意 入力信号がない場合、1分後に電源がオフし、スタンバイ状態 となります。

注意メッセージ

メッセージ	意味と対処
x➡	→ 選択されている入力端子に何も入力されていません。接続を確認してください。(☞ 15 ページ)
「無効キーが押されました！」	→ 正しいボタンで操作してください。 → 操作を受け付けないボタンを押しました。

光源用ランプを交換し吸気口を掃除する

光源用ランプには寿命があります。画面が暗くなったり色がおかしくなった場合、または画面に「ランプを交換してください。」というメッセージが出たときは、光源用ランプが消耗しています。新しい光源用ランプ（別売り）と交換してください。

用意するもの：

- ・プロジェクターランプ LMP-H330
(別売り)
- ・標準プラスドライバー
- ・布 (傷防止)

ちょっと一言

光源用ランプの寿命は設置環境や使用状況によって変化することがあります。ランプ点灯直後、数分間以内でのパワーオフを避けることにより、ランプをより長く使っていただくことができます。

△警告

- ・**I/O** (オン／スタンバイ) ボタンで電源を切った直後は光源用ランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。光源用ランプを充分に冷やすため、光源用ランプ交換は、本機の電源を切ってから1時間以上たってから行ってください。
- ・交換ランプのガラス面は触らないでください。もし汚れが付着した場合は乾いた柔かい布でふき取ってください。
- ・天井つりした状態での光源用ランプ交換は十分注意してください。
- ・天井つりした状態で光源用ランプを交換するときは、ランプカバーの斜め下

に立ち、ランプドア（内蓋）をはずすときはなるべく傾けないでください。万一光源用ランプが破裂している場合に、光源用ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

- ・光源用ランプを取り出すときは、光源用ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。光源用ランプを傾けて持つと、万一光源用ランプが破損した場合に、光源用ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

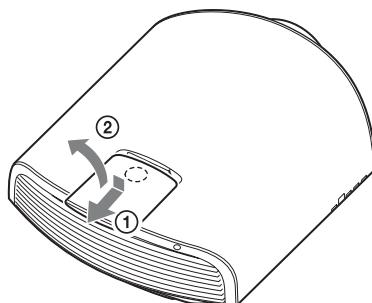
1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

2 床置きの場合は本機や机などに傷がつかないように布などを敷き、本機を布の上に置く。

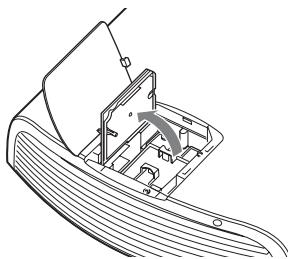
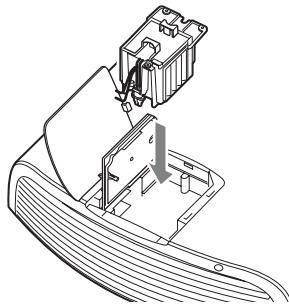
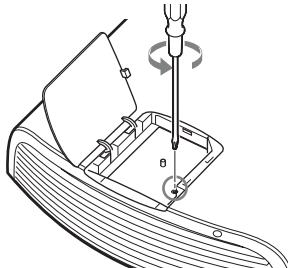
ご注意

本機は不安定な場所には置かないでください。

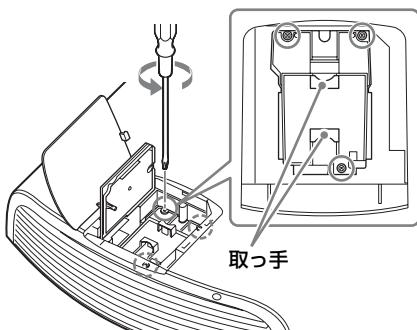
3 光源用ランプカバーの図の○部分を押しながらカバーをすらし(①)、光源用ランプカバーを開ける(②)。



4 ランプドア（内蓋）を固定しているネジ（1か所）をプラスドライバーでゆるめ、ランプドアを開ける。



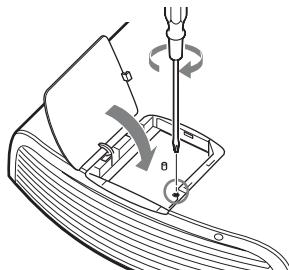
- 5** 光源用ランプを固定しているネジ（3か所）をプラスドライバーでゆるめ、取っ手を持って光源用ランプを上に引き出す。



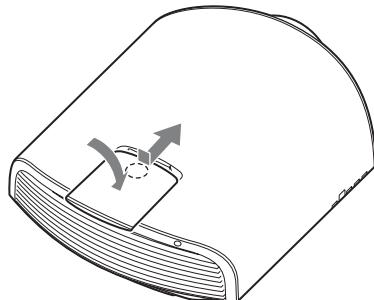
ご注意

光学ブロックには手をふれないでください。

- 7 ランプドア（内蓋）を閉め、ネジを締める。**



- 8 光源用ランプカバーを閉める。**

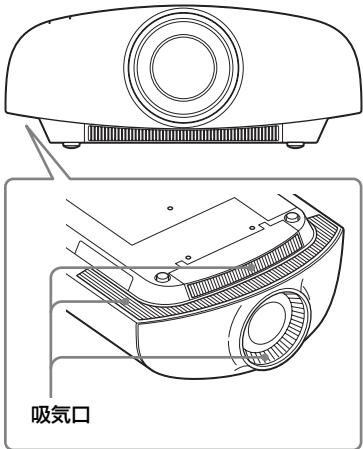


ご注意

光源用ランプは取っ手を持って、取りはずし、取り付けを行ってください。

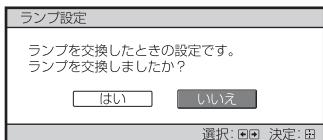
- 6 新しい光源用ランプの取っ手を持って奥まで確実に押し込み、ネジ（3か所）を締める。**

- 9 吸気口に付着したほこりをやわらかい布でふきとる。**



10 本機の電源を入れ、「初期設定」メニューのランプ設定項目を選択する。

以下のようなメニュー画面が表示されます。



11 「はい」を選択する。



△ 警告

光源用ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

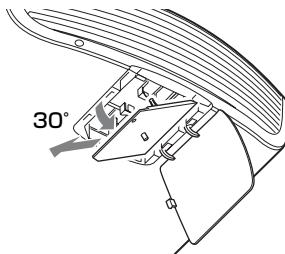
ご注意

- 新しい光源用ランプは、必ず交換用ランプ LMP-H330 をお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因になります。
- 光源用ランプを交換する前に必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ON/STANDBY ランプの消灯を確認してください。
- 光源用ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。
- 光源用ランプカバーが確実に閉まっていないと、電源が入りません。
- 画面に表示されるメッセージを消す場合は、リモコンまたはコントロールパネルのいずれかのボタンを押してください。

天井つり状態での不点灯ランプ交換時のご注意

光源用ランプの破損時に発生した光源用ランプの破片が飛び、けがの原因となることがあります。

天井つりした状態のときは、ランプドア（内蓋）を 30 度ほど開いた状態で少しランプドア（内蓋）を持ち上げてからゆっくりと横にスライドしてはします。ランプドア（内蓋）をなるべく傾けないようにしてください。



お願い

本機の光源用ランプの中には水銀が含まれています。使用済みの光源用ランプは、地域の蛍光管の廃棄のルールに従って廃棄してください。

お手入れ

外装のお手入れについて

- ・外装の汚れを拭きとるときは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。外装の汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- ・アルコールやベンジン、シンナーなどは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。
- ・布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ・殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください
(裏表紙)。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも、長時間使用による消耗部品の交換は有料になる場合があります。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本取扱説明書に記載しているすべての製品と部品（製品補修用性能部品を含む）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

製品：VPL-VW1100ES

製造番号：本体側面または保証書に記載されています。

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店

主な仕様

項目	項目説明
投写方式	SXRD パネル、3 原色液晶シャッター投写方式
表示素子	有効表示サイズ 0.74 型 (18.8 mm) SXRD
	有効画素数 26,542,080 画素 (8,847,360 × 3)
投写レンズ	2.1 倍ズームレンズ (電動) f21.3 ~ 46.2 mm F2.9 ~ 3.9
光源	高圧水銀ランプ 330 W 型
画面サイズ	60 ~ 300 型 (1,524 mm ~ 7,620 mm)
対応信号	プリセット信号一覧をご覧ください。(☞ 79 ページ)
映像入力	HDMI (2 系統) デジタル RGB/ Y Pb/Cb Pr/Cr
	Y Pb/Cb Pr/Cr コンポーネント ピンジャック 同期付 Y : 1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75Ω 終端 Pb/Cb : 0.7 Vp-p ± 2 dB、75Ω 終端 Pr/Cr : 0.7 Vp-p ± 2 dB、75Ω 終端
INPUT A	ミニ D-sub 15 ピン アナログ RGB : R : 0.7 Vp-p ± 2 dB、75Ω 終端 G : 0.7 Vp-p ± 2 dB、75Ω 終端 同期付 G/Y : 1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75Ω 終端 B : 0.7 Vp-p ± 2 dB、75Ω 終端 SYNC/HD : 複合同期入力 : TTL レベル、正負極性 水平同期入力 : TTL レベル、正負極性 VD : 垂直同期入力 : TTL レベル、正負極性
その他出入力	TRIGGER (2 系統) ミニジャック、DC 12 V、最大 100 mA
	REMOTE RS-232C : D-sub 9 ピン (凹)
	LAN RJ45、10BASE-T/100BASE-TX
	IR IN ミニジャック
	3D SYNC RJ45 端子
標準外形寸法 (幅／高さ／奥行き)	520 mm × 200 mm × 640 mm (突起部含まず)
質量	約 20 kg
電源	AC 100 V、4.8 A、50/60 Hz
消費電力	480 W
待機電力	3.5 W (スタンバイモード「標準」時) 0.3 W (スタンバイモード「低」時)
使用温度	5 °C ~ 35 °C

項目	項目説明
使用湿度	35%～85%（結露なきこと）
保存温度	-20℃～+60℃
保存湿度	10%～90%
付属品	クイックリファレンスマニュアルの「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサリー	プロジェクターランプ：LMP-H330（交換用） プロジェクターサスペンションサポート：PSS-H10 3D メガネ：TDG-PJ1 3D シンクロトランスマッター：TMR-PJ2

ご注意

- * HDMI 入力 2 のみ HDCP 2.2 対応。
- ・表示している外形寸法、質量は概寸です。
- ・別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口に確認してください。
- ・ここに記載されている別売りアクセサリーは、2013 年 10 月現在のものです。

本機の仕様、外観および別売りアクセサリーは改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

プリセット信号一覧

下記は、本機で投影可能な信号の種類・フォーマットの一覧表です。

これ以外の信号に対しては、正しい投影ができなくなる場合がありますので、ご注意ください。

プリセットメモリーナンバー	プリセット信号 (解像度)		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	ピッチ (H サイズ)
3	480/60i	480/60i (720 × 480i)	15.734	59.940	SonG /Y	—
4	576/50i	576/50i (720 × 576i)	15.625	50.000	SonG /Y	—
5	480/60p	480/60p (倍速 NTSC) (720 × 480p)	31.470	60.000	SonG /Y	—
6	576/50p	576/50p (倍速 PAL) (720 × 576p)	31.250	50.000	SonG /Y	—
7	1080/60i	1080/60i (1920 × 1080i)	33.750	60.000	SonG /Y	—
8	1080/50i	1080/50i (1920 × 1080i)	28.130	50.000	SonG /Y	—
10	720/60p	720/60p (1280 × 720p)	45.000	60.000	SonG /Y	—
11	720/50p	720/50p (1280 × 720p)	37.500	50.000	SonG /Y	—
12	1080/60p	1080/60p (1920 × 1080p)	67.500	60.000	—	—
13	1080/50p	1080/50p (1920 × 1080p)	56.260	50.000	—	—
14	1080/24p	1080/24p (1920 × 1080p)	26.973	23.976	—	—
18	720/60p (フレームパッキング)	720/60p (1280 × 720p)	90.000	60.000	—	—
19	720/50p (フレームパッキング)	720/50p (1280 × 720p)	75.000	50.000	—	—
20	1080/24p (フレームパッキング)	1080/24p (1920 × 1080p)	53.946	23.976	—	—
26	640 × 480	VESA 60	31.469	59.940	H-負 V-負	800
28		VESA 72	37.861	72.809	H-負 V-負	832
29		VESA 75 (IBM M3)	37.500	75.000	H-負 V-負	840
30		VESA 85 (IBM M4)	43.269	85.008	H-負 V-負	832

プリセットメモリーナンバー	プリセット信号 (解像度)		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	ピッチ (H サイズ)
31	800 × 600	VESA 56	35.156	56.250	H- 正 V- 正	1024
32		VESA 60	37.879	60.317	H- 正 V- 正	1056
33		VESA 72	48.077	72.188	H- 正 V- 正	1040
34		VESA 75 (IBM M5)	46.875	75.000	H- 正 V- 正	1056
35		VESA 85	53.674	85.061	H- 正 V- 正	1048
37	1024 × 768	VESA 60	48.363	60.004	H- 負 V- 負	1344
38		VESA 70	56.476	70.069	H- 負 V- 負	1328
39		VESA 75	60.023	75.029	H- 正 V- 正	1312
45	1280 × 960	VESA 60	60.000	60.000	H- 正 V- 正	1800
47	1280 × 1024	VESA 60	63.974	60.013	H- 正 V- 正	1696
50	1400 × 1050	SXGA +	65.317	59.978	H- 負 V- 正	1864
55	1280 × 768 /60	1280 × 768 /60	47.776	59.870	H- 負 V- 正	1664
56	1280 × 720 /60	1280 × 720 /60	44.772	59.855	H- 負 V- 正	1664
74	3840 × 2160/60p*	3840 × 2160/60p (3840 × 2160)	135.000	60.000	—	—
75	3840 × 2160/50p*	3840 × 2160/50p (3840 × 2160)	112.500	50.000	—	—
76	4096 × 2160/60p*	4096 × 2160/60p (4096 × 2160)	135.000	60.000	—	—
77	4096 × 2160/50p*	4096 × 2160/50p (4096 × 2160)	112.500	50.000	—	—
78	4096 × 2160/30p	4096 × 2160/30p (4096 × 2160)	67.500	30.000	—	—
79	4096 × 2160/25p	4096 × 2160/25p (4096 × 2160)	56.250	25.000	—	—
93	3840 × 2160/24p	3840 × 2160/24p (3840 × 2160)	53.946	23.976	—	—
94	3840 × 2160/25p	3840 × 2160/25p (3840 × 2160)	56.25	25	—	—
95	3840 × 2160/30p	3840 × 2160/30p (3840 × 2160)	67.4325	29.97	—	—
96	4096 × 2160/24p	4096 × 2160/24p (4096 × 2160)	54	24	—	—

* 「YCbCr 4:2:0 / 8bit」対応のみ

入力信号種別ごとの対応プリセットメモリーナンバー

アナログ信号

信号	プリセットメモリーナンバー
コンポーネント信号 (Y P _B /C _B P _R /C _R 端子)	3～8、10、11
コンピューター信号 (INPUT A 端子)	26、28～35、37～39、55、56

デジタル信号

信号	プリセットメモリーナンバー
コンポーネント信号 (HDMI 1、2 端子)	3～8、10～14、18～20、74～79、93～96
ビデオ GBR 信号 (HDMI 1、2 端子)	3～8、10～14、18～20、78、79、93～96
コンピューター信号 (HDMI 1、2 端子)	10～13*、26、32、37、45、47、50、55

* デジタル入力のコンピューター信号の中には、コンポーネント信号あるいはビデオ GBR 信号のプリセットメモリーナンバーとして表示される入力信号があります。

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整／設定できる項目が異なります。詳しくは下の表をご覧ください。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。

画質設定メニュー

項目	入力信号		
	コンポーネント信号	ビデオ GBR 信号	コンピューター信号
リアリティークリエーション	○	○	×
アドバンストアイリス	○	○	○
ランプコントロール	○	○	○
フィルムプロジェクトション	○	○	×
モーションエンハンサー	○ (プリセットメモリーナンバー 74 ～ 79、93～96 を除く)	○ (プリセットメモリーナンバー 78、 79、93～96 を 除く)	×
コントラスト	○	○	○
明るさ	○	○	○
色の濃さ	○	○	×
色あい	○	○	×
色温度	○	○	○
シャープネス	○	○	×
NR	○ (プリセットメモリーナンバー 74 ～ 79、93～96 を除く)	○ (プリセットメモリーナンバー 78、 79、93～96 を 除く)	×
MPEG NR	○ (プリセットメモリーナンバー 74 ～ 79、93～96 を除く)	○ (プリセットメモリーナンバー 78、 79、93～96 を 除く)	×
スムースグラデーション	○	○	×

項目	入力信号		
	コンポーネント信号	ビデオ GBR 信号	コンピューター信号
フィルムモード	○ (プリセットメモ リーナンバー 14、 20、74～79、 93～96 を除く)	○ (プリセットメモ リーナンバー 14、 20、78、79、 93～96 を除く)	×
黒補正	○ (プリセットメモ リーナンバー 74 ～79、93～96 を除く)	○ (プリセットメモ リーナンバー 78、 79、93～96 を 除く)	×
ガンマ補正	○	○	○
カラーコレクション	○	○	○
クリアホワイト	○	○	○
x.v.Color	○	×	×
カラースペース	○	○	○

○：調整／設定できる項目

×：調整／設定できない項目

スクリーン設定メニュー

項目	入力信号		
	コンポーネント信号	ビデオ GBR 信号	コンピューター信号
アスペクト *1	○ (プリセットメモ リーナンバー 76 ～79、96 を除 く)	○ (プリセットメモ リーナンバー 78、 79、96 を除く)	×
オーバースキャン	○ (プリセットメモ リーナンバー 74 ～79、93～96 を除く)	○ (プリセットメモ リーナンバー 78、 79、93～96 を 除く)	×
フェーズ	×	×	○ *2
ピッチ	×	×	○ *2
シフト	○ *2	○ *2	○

○：調整／設定できる項目

×：調整／設定できない項目

*1：詳細は「アスペクトモード」の表を参照してください。(☞ 86 ページ)

*2：アナログ信号の場合のみ設定できます。

ご注意

HDMI などのケーブルを接続した際、「**① 情報メニュー**」(☞ 55 ページ) およびデジタル信号 (☞ 81 ページ) にて信号種類を確認して、調整／設定できる項目を確認してください。

対応 3D 信号一覧

本機は以下の 3D 信号に対応しています。

解像度	3D 信号のフォーマット
720/60、50P	左右分割方式
	上下分割方式 *
	フレームパッキング *
1080/60、50i	左右分割方式 *
1080/24P	上下分割方式 *
	フレームパッキング *
1080/60、50P	左右分割方式
	上下分割方式

*: HDMI 規格の 3D Mandatory フォーマット

3D 信号と調整／設定項目

3D 信号の種類によっては、調整または設定できない項目があります。調整／設定できない項目は、メニューに表示されません。詳しくは、以下の表をご覧ください。

項目	3D 信号			
	720/60, 50P	1080/60, 50i	1080/24P	1080/60, 50P
リアリティークリエーション	○	○	○	○
アドバンストアイリスト	×	×	×	×
ランプコントロール	○	○	○	○
フィルムプロジェクトション	×	×	×	×
モーションエンハンサー	×	×	○	×
NR	×	×	×	×
MPEG NR	×	×	×	×

項目	3D 信号			
	720/60, 50P	1080/60, 50i	1080/24P	1080/60, 50P
スムースグラデーション	×	×	×	×
フィルムモード	×	×	×	×
x.v.Color	○	○	○	○
アスペクト	○	○ (スクイーズ選択不可)	○	○
オーバースキャン	×	×	×	×

○：調整／設定できる項目

×：調整／設定できない項目

2D 映像を 3D で表示する場合、「 機能設定」メニューの「3D フォーマット」の設定によっては、調整または設定できない項目があります。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。詳しくは、以下の表をご覧ください。

項目	3D フォーマット		
	上下分割方式	左右分割方式	シミュレーテッド 3D
リアリティークリエーション	○	○	○
アドバンストアイリスト	×	×	×
ランプコントロール	○	○	○
フィルムプロジェクトション	×	×	×
モーションエンハンサー	○ (プリセットメモリーナンバー 14 のみ)	×	○
NR	×	×	○
MPEG NR	×	×	○
スムースグラデーション	×	×	○
フィルムモード	×	×	×
x.v.Color	○	○	○
アスペクト *1	○	○	○
オーバースキャン	×	×	×

*1：詳細は「アスペクトモード」の表を参照してください。（☞ 86 ページ）

アスペクトモード

入力される信号の解像度や 3D フォーマットによって、選択できない項目があります。詳しくは下の表をご覧ください。選択できない項目は、メニューに表示されません。

2D

対応解像度	4096 × 2160	3840 × 2160	1920 × 1080 1280 × 720	720 × 480 720 × 576	その他
プリセットメモリーナンバー (☞ 79 ページ)	76、77、 78、79、 96	74、75、 93～95	7、8、 10～14	3～6	26、 28～35、 37～39、 55、56
1.85:1 ズーム	×	×	○	○	×
2.35:1 ズーム	×	○	○	○	×
ノーマル	○ *1	○	○	○	○ *1
ストレッチ	×	×	×	○	×
V ストレッチ	×	×	○	○	×
スクイーズ	×	×	○	○	×

*1：ノーマル固定のためメニューには表示されません。

3D

対応解像度	1920 × 1080、1280 × 720			
3D フォーマット	左右分割方式	上下分割方式	フレームパッキング	シミュレーテッド 3D
プリセットメモリーナンバー (☞ 79 ページ)	7、8、 10～13	10～14	18～20	18～20
1.85:1 ズーム	○	○	○	○
2.35:1 ズーム	○	○	○	○
ノーマル	○	○	○	○
ストレッチ	×	×	×	×
V ストレッチ	○	○	○	○
スクイーズ	○ *2	○	○	○

*2：スクイーズは、プリセットメモリーナンバー 7、8、12、13 (☞ 79 ページ) 入力時は選択できません。

調整／設定項目の保存条件

各調整／設定項目は、入力端子、またはプリセット信号ごとに個別に保存されます。詳しくは下の表をご覧ください。

入力ごとの対応プリセットメモリーナンバー

入力	プリセットメモリーナンバー
入力 A	26、28～35、37～39、55、56
コンポーネント	3～8、10、11
HDMI 1 (2D)	3～8、10～14、18～20、26、32、37、45、47、
HDMI 2 (2D)	50、55、74～79、93～96
HDMI 1 (3D)	7、8、10～14、18～20
HDMI 2 (3D)	

画質設定メニュー

項目	保存条件
ピクチャープリセット	入力端子、かつプリセット信号ごと
標準に戻す	入力端子、かつピクチャープリセットごと
リアリティークリエーション	
アドバンストアイリス	
ランプコントロール	
フィルムプロジェクトション	
モーションエンハンサー	
コントラスト	
明るさ	
色の濃さ	
色あい	
色温度	
D93～D55	
カスタム 1～5	

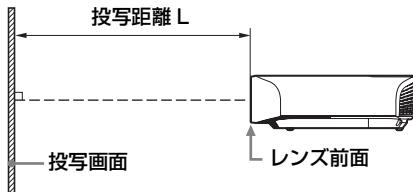
項目	保存条件
ゲイン R	色温度カスタム 1 ~ 5 ごと
ゲイン G	
ゲイン B	
バイアス R	
バイアス G	
バイアス B	
シャープネス	入力端子、かつピクチャープリセットごと
NR	
MPEG NR	
スムースグラデーション	
フィルムモード	
黒補正	
ガンマ補正	
カラーコレクション	
クリアホワイト	
x.v.Color	
カラースペース	

スクリーン設定メニュー

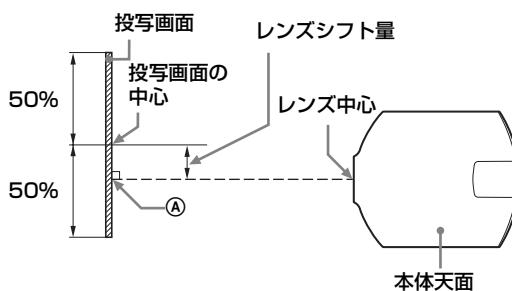
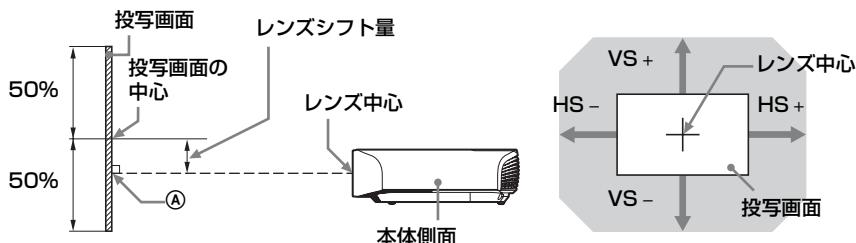
項目	保存条件
アスペクト	ピクチャーポジション 1.85:1、2.35:1、カスタム 1 ~ 3 ごと
オーバースキャン	入力端子、かつプリセット信号ごと
入力信号調整：フェーズ (アナログコンピューター信号)	入力端子、かつプリセット信号ごと
入力信号調整：ピッチ (アナログコンピューター信号)	入力端子、かつプリセット信号ごと
入力信号調整：シフト (すべてのアナログ信号)	入力端子、かつプリセット信号ごと

投写距離とレンズシフト量

投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。



レンズシフト量は、レンズの中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中Ⓐ）と、投写画面の中心が同じ場合を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を100%とし、その距離をパーセントで表します。



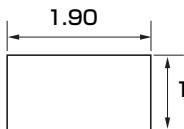
VS₊ : 垂直レンズシフト量（上）[%]

VS₋ : 垂直レンズシフト量（下）[%]

HS₊ : 水平レンズシフト量（右）[%]

HS₋ : 水平レンズシフト量（左）[%]

1.90:1 (ネイティブフル表示 17:9) 投影時



投写距離表

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L
対角 D	横×縦	
80型 (2.03)	1.80 × 0.95	2.23 – 4.90
100型 (2.54)	2.25 × 1.18	2.81 – 6.14
120型 (3.05)	2.70 × 1.42	3.39 – 7.38
150型 (3.81)	3.37 × 1.78	4.25 – 9.25
200型 (5.08)	4.49 × 2.37	5.70 – 12.36

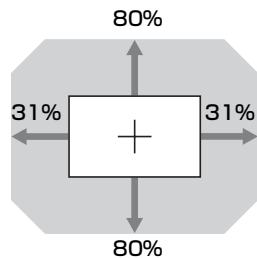
投写距離計算式

D : 投写画面サイズ（対角）

単位 : m

投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$L=0.028860 \times D - 0.0800$	$L=0.062212 \times D - 0.0756$

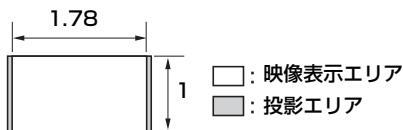
レンズシフト量



$$VS+ = VS- = 80 - 2.581 \times (HS+ \text{もしくは } HS-) [\%]$$

$$HS+ = HS- = 31 - 0.388 \times (VS+ \text{もしくは } VS-) [\%]$$

1.78:1 (16:9) 投影時



投写距離表

単位：m

対角 D	画面サイズ 横×縦	投写距離 L
80型 (2.03)	1.77 × 1.00	2.35 – 5.15
100型 (2.54)	2.21 × 1.25	2.96 – 6.46
120型 (3.05)	2.66 × 1.49	3.56 – 7.77
150型 (3.81)	3.32 × 1.87	4.47 – 9.73
200型 (5.08)	4.43 × 2.49	5.99 – 13.00

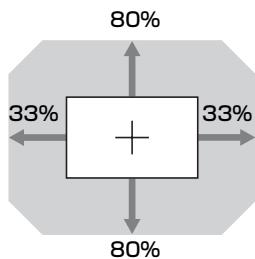
投写距離計算式

D : 投写画面サイズ（対角）

単位：m

投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$L=0.030333 \times D - 0.0800$	$L=0.065387 \times D - 0.0756$

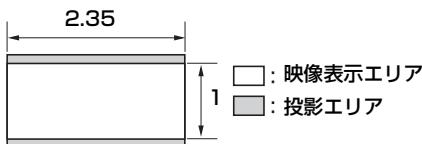
レンズシフト量



$$VS+ = VS- = 80 - 2.424 \times (HS+ \text{もしくは } HS-) [\%]$$

$$HS+ = HS- = 33 - 0.413 \times (VS+ \text{もしくは } VS-) [\%]$$

2.35:1 投影時



投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L
対角 D	横×縦	
80型 (2.03)	1.87 × 0.80	2.33 – 5.10
100型 (2.54)	2.34 × 0.99	2.93 – 6.39
120型 (3.05)	2.80 × 1.19	3.53 – 7.69
150型 (3.81)	3.51 × 1.49	4.43 – 9.63
200型 (5.08)	4.67 × 1.99	5.93 – 12.86

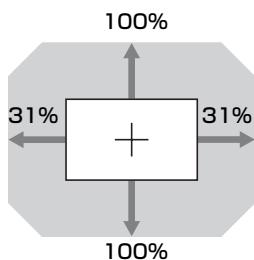
投写距離計算式

D : 投写画面サイズ（対角）

単位：m

投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$L=0.030024 \times D - 0.0800$	$L=0.064723 \times D - 0.0756$

レンズシフト量

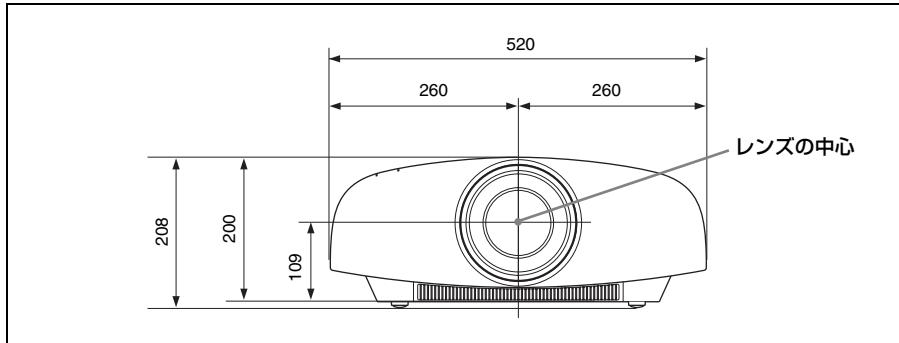


$$\begin{aligned} VS+ &= VS- = 100 - 3.226 \times \\ &(HS+ \text{もしくは } HS-) [\%] \\ HS+ &= HS- = 31 - 0.310 \times \\ &(VS+ \text{もしくは } VS-) [\%] \end{aligned}$$

寸法図

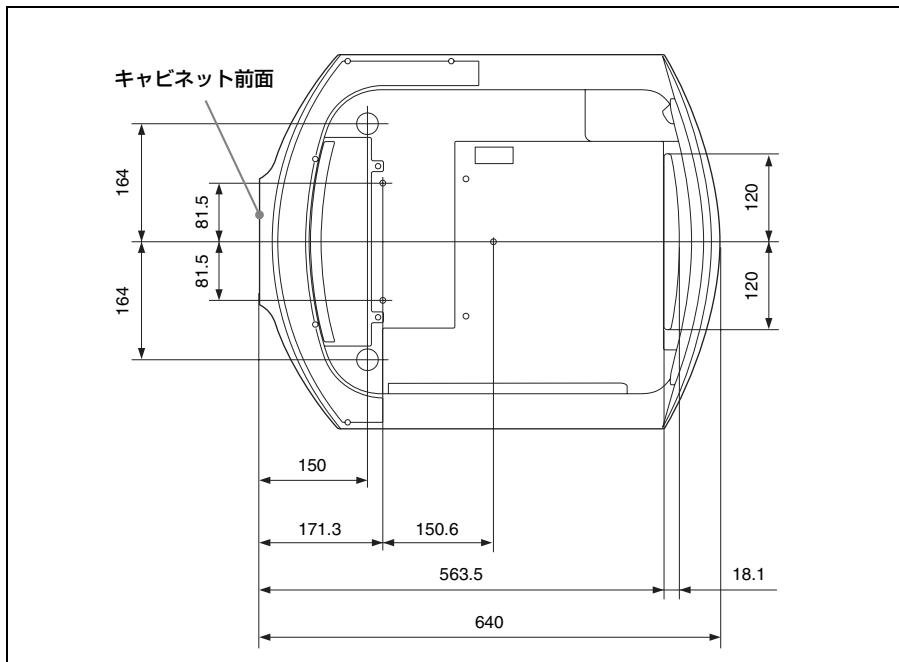
本体前面

単位：mm

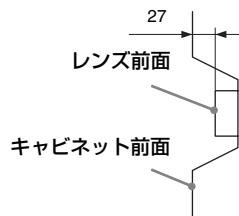


本体底面

単位：mm



レンズ前面からキャビネット前面までの距離



プロジェクターサスペンションサポート PSS-H10 を使用した場合

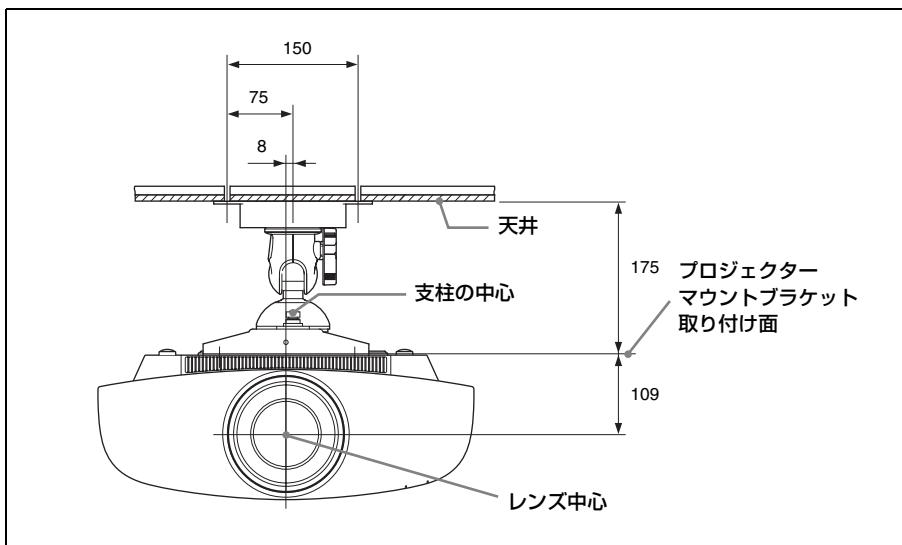
特約店様へ

天井に取り付ける際は、ソニー製のプロジェクターサスペンションサポート PSS-H10をご使用のうえ、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。

詳しくは、PSS-H10 の取付説明書をご覧ください。

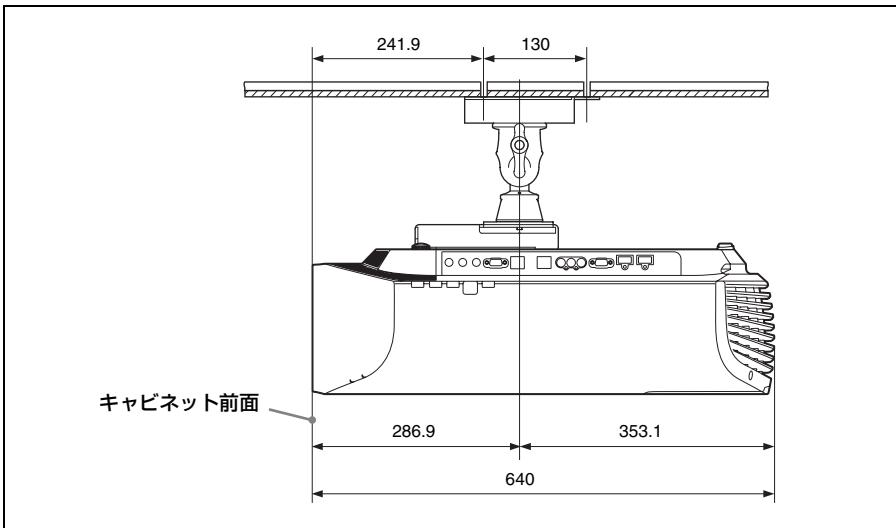
前から見た図

単位 : mm



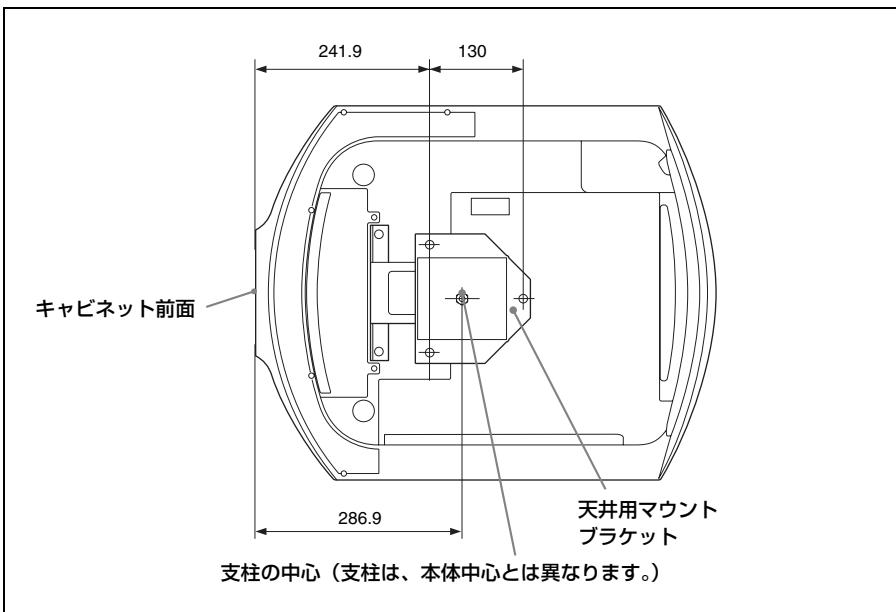
横から見た図

単位：mm



上から見た図

単位：mm



索引

あ行

「明るさ」	38
アスペクト	
「スクイーズ」	29, 44
「ストレッチ」	28, 43
「ノーマル」	28, 43
「1.85:1 ズーム」	27, 43
「2.35:1 ズーム」	27, 43
「Vストレッチ」	28, 43
アスペクト比	27
「アドバンストアイリス」	37
「アナモフィックレンズ」	51
「色あい」	38
「色温度」	38
「色の濃さ」	38
「エキスパート設定」	39
「オート入力サーチ」	50
「オーバースキャン」	44

か行

各部の名前	
後面／底面	5
前面／右側面	4
「コントラスト」	37
「画像反転」	51
「画面表示」	45
「カラーコレクション」	40
「カラースペース」	41
「ガンマ補正」	40
「クリアホワイト」	40
「黒補正」	39
故障かな？と思ったら	64

さ行

「シネマブラックプロ」	37
「シャープネス」	38
仕様	77
「スタンバイモード」	45
「スムースグラデーション」	39
寸法図	93
接続する	

パソコンをつなぐ	17
ビデオ機器をつなぐ	15
3Dシンクロトランスマッターをつなぐ	18
前脚部（調整可）	14

た行

調整	
画面の調整	9
「テストパターン」	50
投写距離表	90, 91, 92
「トリガ一切替」	51

な行

「入力信号調整」	
「シフト」	44
「ピッチ」	44
「フェーズ」	44
ネットワーク機能	57
「ネットワーク設定」	54

は行

「パネルアライメント」	52
「パワーセービング」	46
「ピクチャープリセット」	
「ゲーム」	35
「シネマ デジタル」	35
「シネマ フィルム 1」	35
「シネマ フィルム 2」	35
「フォト」	35
「ブライトシネマ」	36
「ブライトTV」	36
「リファレンス」	35
「TV」	35
ピクチャーポジション	
「ピクチャーポジション」	42
ピクチャーポジションを使う	
	26

「表示言語」	45
「フィルムプロジェクトション」	37
「フィルムモード」	39
「ブランкиング」	52
プリセット信号	79
プリセットメモリー	56
プリセットモード	

BRT CINE.....	30
BRT TV.....	30
CINEMA DIGITAL	30
CINEMA FILM1	30
CINEMA FILM2	30
GAME.....	30
PHOTO	30
REF	30
TV.....	30

ま行

「無信号入力時背景」.....	50
メッセージ	
警告メッセージ	70
注意メッセージ	71
メニュー	
画質設定.....	35
機能設定.....	47
情報	55
初期設定.....	45
スクリーン設定.....	42
設置設定.....	51
「メニュー位置」.....	45
「モーションエンハンサー」.....	37

ら行

「ランプコントロール」.....	37
「ランプ使用時間」.....	55
「ランプ設定」.....	46
「リアリティークリエーション」....	36
リセット	
設定値をリセットする	33
リセットできる項目	33
リモコン	
各部の名前.....	6
「リモコン受光部」.....	52
「冷却設定」.....	45
「レンズコントロール」.....	51

数字

「3D SYNC 出力」.....	48
3D 信号一覧	84
「3D 設定」	
「シミュレーテッド 3D 効果」	
.....	48

「2D-3D 表示選択」.....	47
「3D 明るさ」.....	47
「3D 奥行き調整」.....	48
「3D フォーマット」.....	47
3D メガネ	
3D メガネの動作範囲	23
3D メガネを使う	22

アルファベット

DCI 仕様	63
「fH (水平周波数)」.....	55
「fV (垂直周波数)」.....	55
HDMI.....	15
「HDMI 機器制御設定」.....	48
「HDMI ダイナミックレンジ」.....	50
ImageDirector3.....	31, 40
LAN 端子.....	4, 58
「Motionflow」.....	37
「MPEG NR (MPEG ノイズリダクション)」.....	39
「NR (ノイズリダクション)」.....	39
x.v.Color (エックスブイ・カラー)	
.....	40, 63

商標について

- ・「プレイステーション」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- ・HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- ・「ブルーレイ」、「ブルーレイディスク」は Blu-ray Disc Association の商標です。

HDMI 機器制御は、HDMI で規格化されている HDMI CEC (Consumer Electronics Control) を使った機器間相互制御の機能です。本機は、HDMI の DeepColor、x.v.Color、LipSync、コンピューター入力信号、3D 信号に対応しております。また HDCP に対応しております。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1